

II 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の農業経営体は18,141経営体で、うち個人経営体は17,976経営体である。個人経営体のうち主業経営体が31.9%、準主業経営体は11.7%、副業的経営体は56.4%で、65歳未満の世帯員がいない副業的経営体の比率が高い。(2020年農林業センサスより)

耕地面積は31,800haであり、その利用形態は水田29.3%、樹園地63.5%、普通畑7.1%である。

農業産出額は(令和2年)1,104億円(構成比:※7.1% 果実68.8% 野菜12.8% 花き4.8% 畜産3.2%)

	令和2年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸 25,263		戸 5,200	戸 4,114	戸 3,304	戸 3,746	戸 4,556	戸 3,560	戸 783
農業経営体	経営体 18,141		経営体 3,330	経営体 2,997	経営体 2,238	経営体 3,232	経営体 3,608	経営体 2,404	経営体 332
個人経営体	17,976	100.0%	3,309	2,975	2,216	3,200	3,580	2,374	322
主業経営体	5,732	31.9	749	853	497	1,332	1,373	875	53
準主業経営体	2,104	11.7	399	354	289	342	417	273	30
副業的経営体	10,140	56.4	2,161	1,768	1,430	1,526	1,790	1,226	239
団体経営体	165		21	22	22	32	28	30	10
	令和2年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha 31,800	100.0%	ha 5,715	ha 5,062	ha 3,563	ha 5,395	ha 6,184	ha 5,011	ha 878
水田	9,330	29.3	2,437	1,771	888	492	1,938	1,218	591
樹園地	20,200	63.5 (100.0)	2,739	3,088	2,538	4,707	3,517	3,523	126
みかん	7,330	36.3	1,756	761	234	3,603	339	639	2
はっさく	930	4.6	70	533	71	104	126	24	2
うめ	5,350	26.5	110	158	168	49	2,468	2,387	9
もも	725	3.6	36	568	120	1	0	0	0
かき	2,530	12.5	204	619	1,685	9	6	1	2
普通畑	2,270	7.1	538	203	135	220	736	277	161
	令和2年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	億円 1,104	100.0%	千万円 1,508	千万円 1,838	千万円 1,140	千万円 2,264	千万円 2,429	千万円 1,676	千万円 172
米	78	7.1	237	150	70	38	160	99	27
果実	759	68.8	837	1,176	866	1,967	1,390	1,332	24
野菜	141	12.8	294	254	103	48	595	80	36
花き	53	4.8	—	—	—	—	—	—	—
畜産	35	3.2	58	52	66	61	22	25	61

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

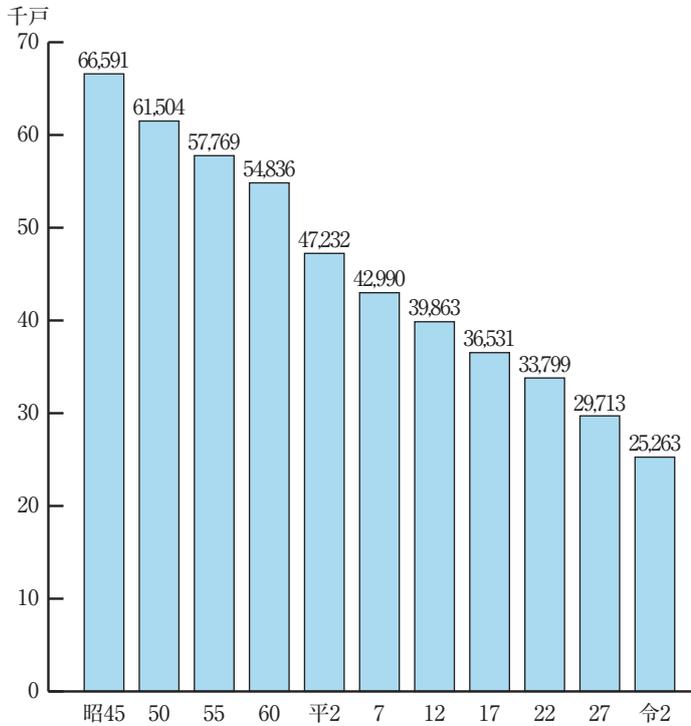
花きの地域別農業産出額は、秘密保護による非公表の市町村が多いため掲載しない。

(2020年農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

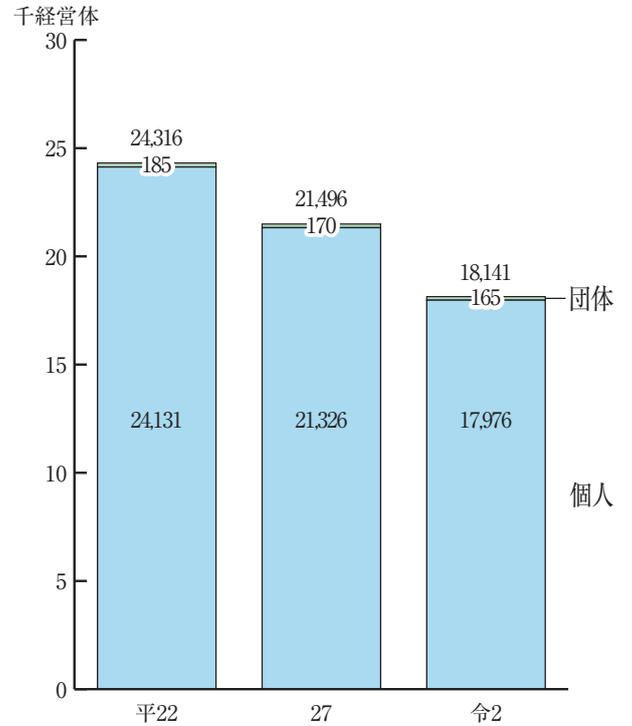
2) 農業を担う人々

令和2年の農家戸数は25,263戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農業経営体が61.1%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では65歳以上の占める割合が63.9%となっている。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

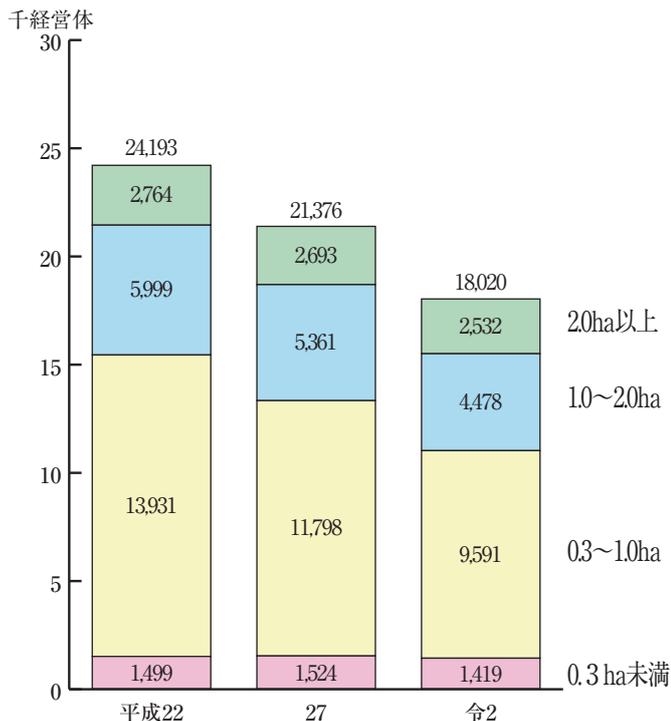
農家数の推移



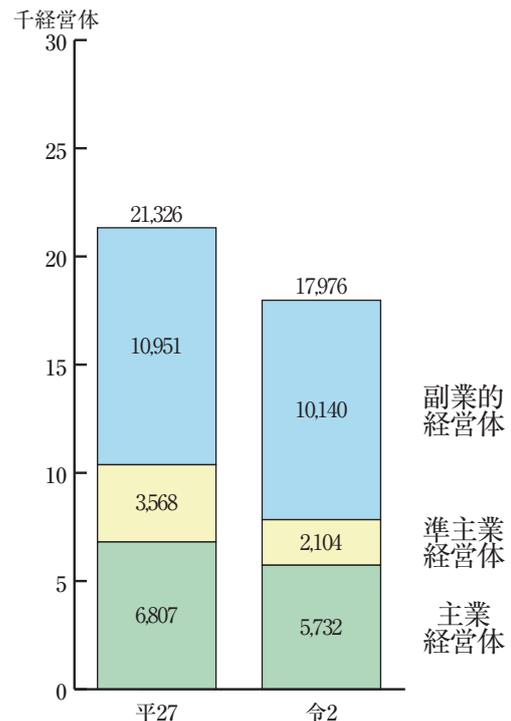
農業経営体数の推移



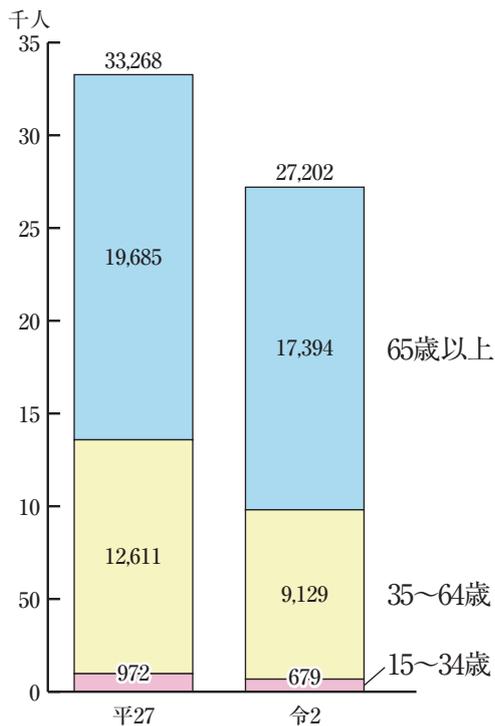
経営規模別経営体数(経営耕地のある経営体)の推移



主副業別農業経営体数(個人経営体)の推移



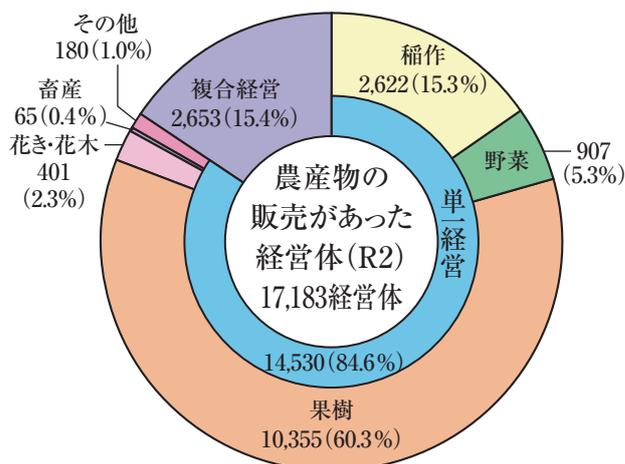
年齢別基幹的農業従事者数(個人経営体)の推移



〔令2〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名	県名
総農家数	1,747,079	25,263	33	1.4	長野	茨城	兵庫
販売農家数	1,027,892	17,250	29	1.7	茨城	新潟	福島

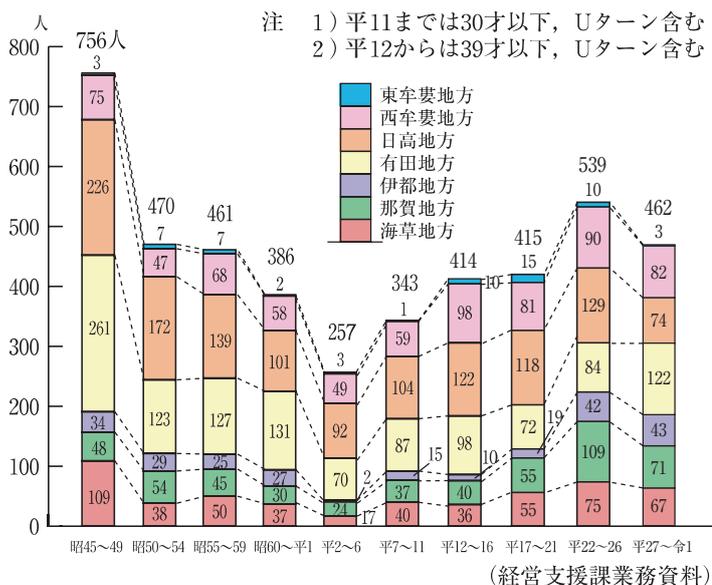
(2020年農林業センサス)

農業経営組織別経営体数(令和2年)



(2020年農林業センサス)

新規就農者数の推移

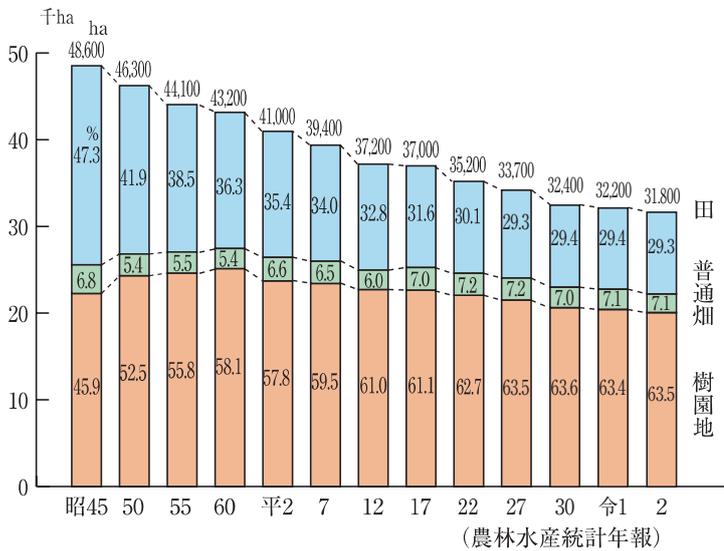


(経営支援課業務資料)

3) 耕地面積

耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。
 施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

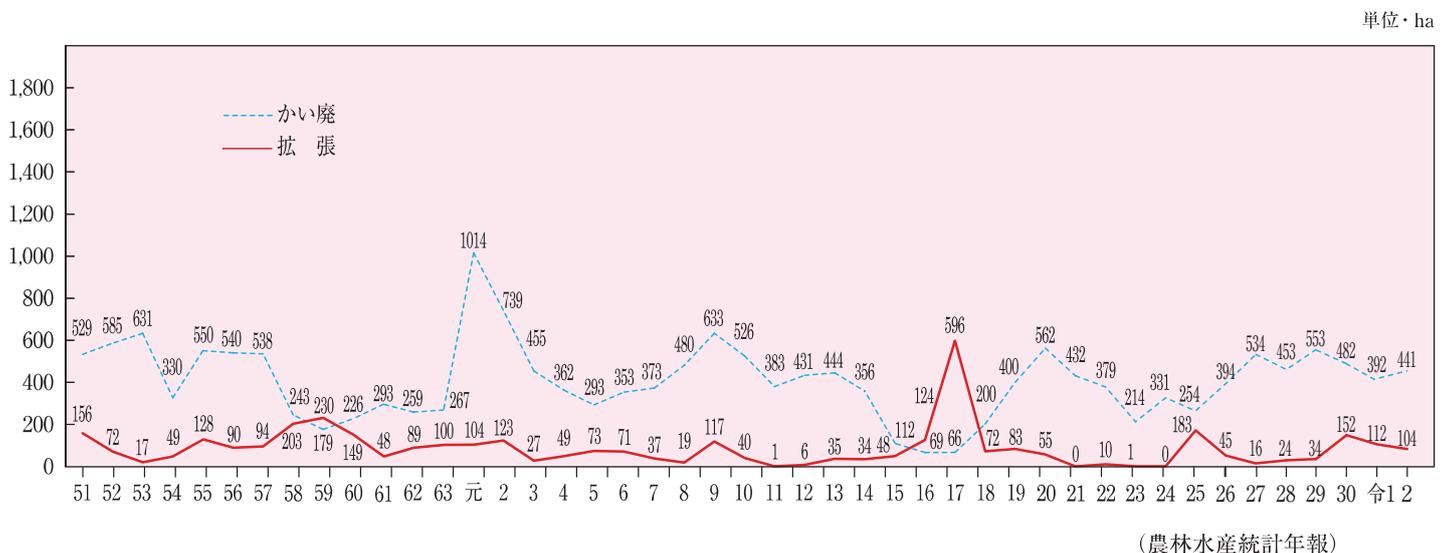
田畑別耕地面積の推移



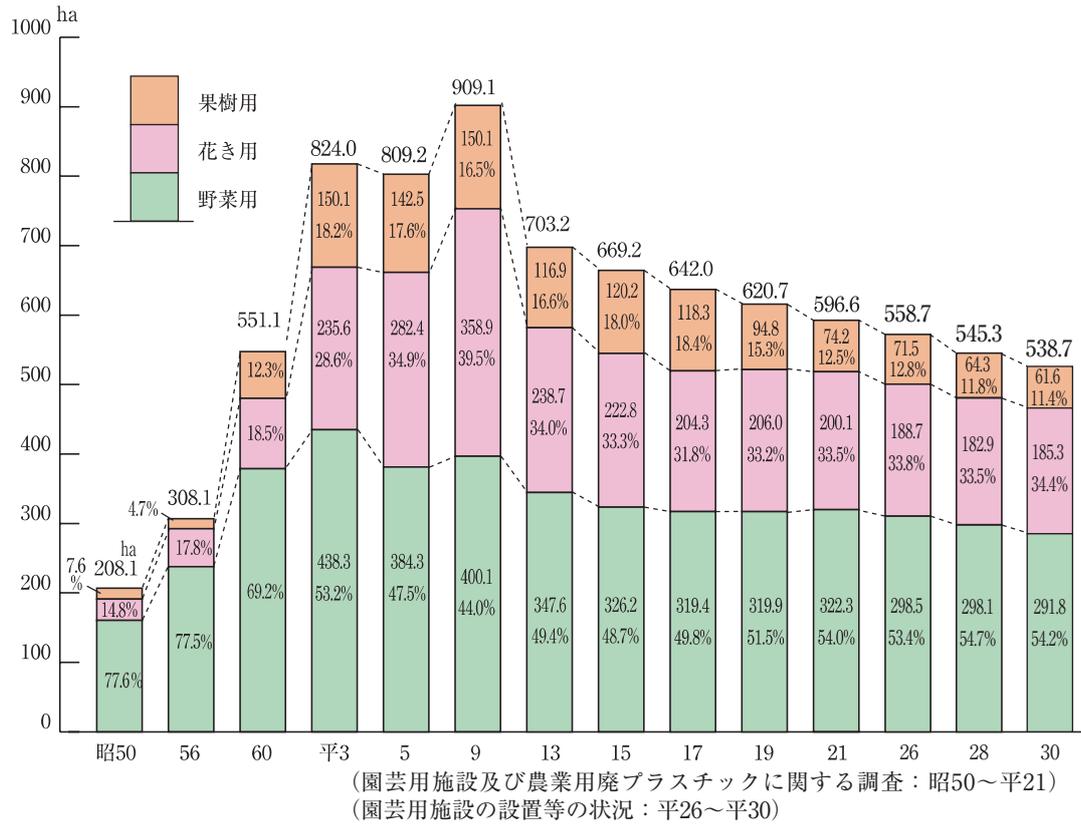
耕地面積

〔令2〕	全国		和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名	県名
耕地面積合計(ha)	4,372,000	31,800	38	0.7	北海道	新潟	茨城
田	2,379,000	9,330	42	0.4	北海道	新潟	秋田
畑	1,993,000	22,500	20	1.1	北海道	鹿児島	青森

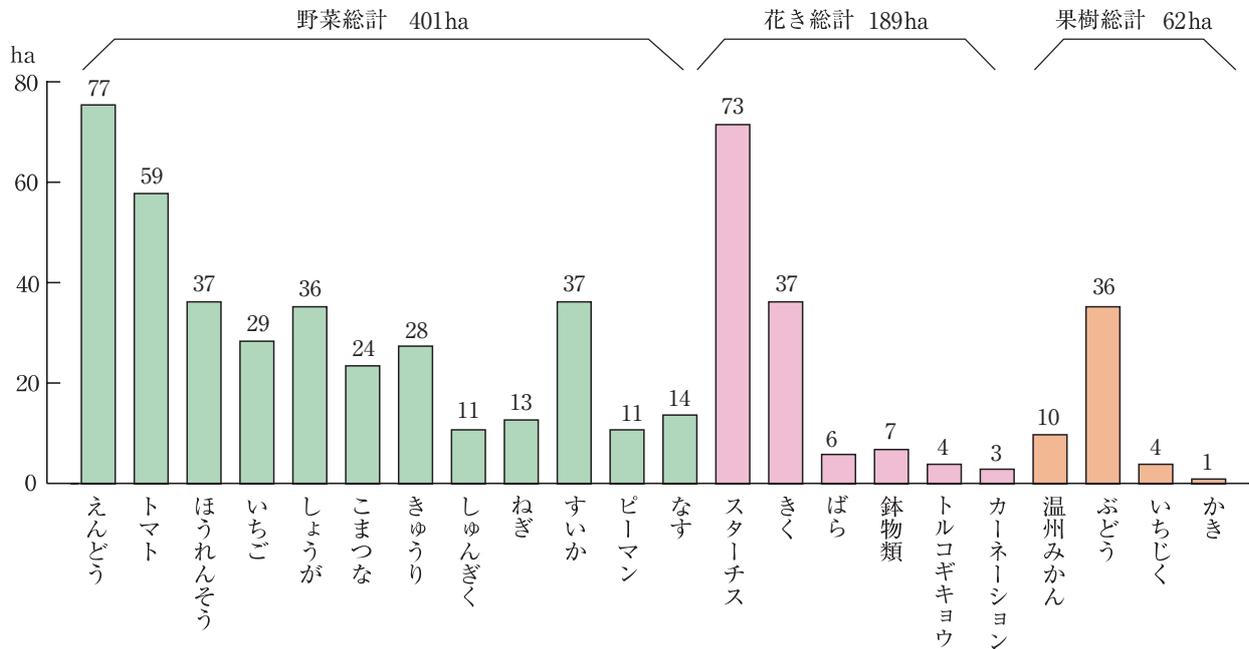
耕地の拡張・かい廃の推移



施設設置面積の推移



主要品目別施設栽培延面積（平30）



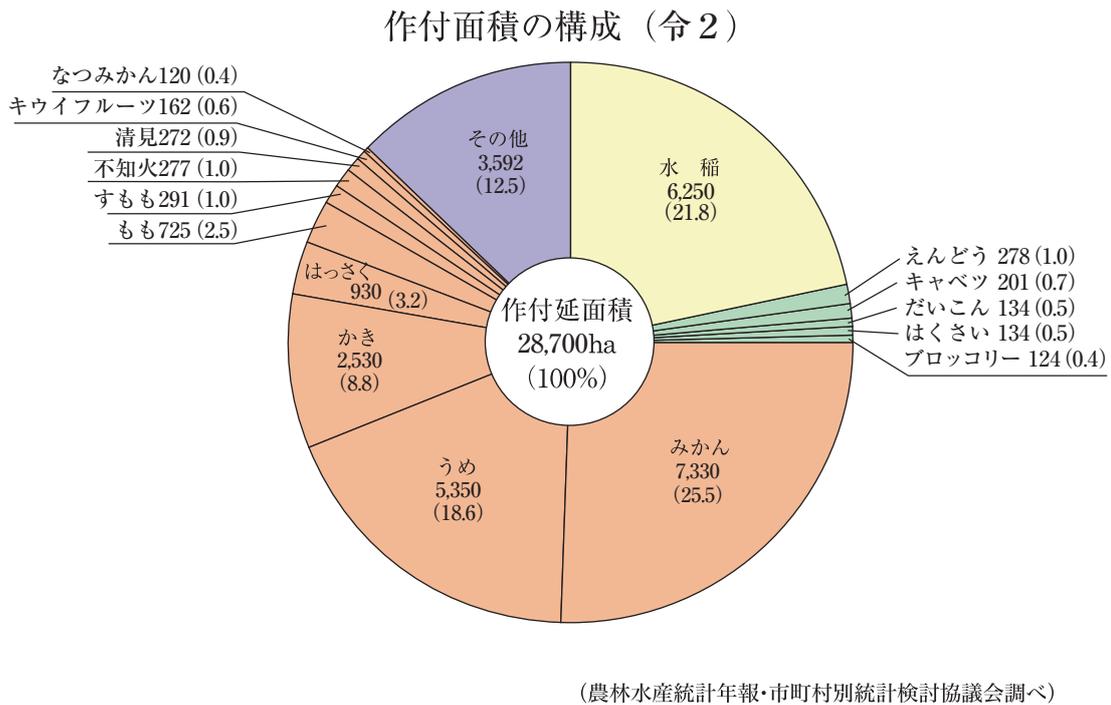
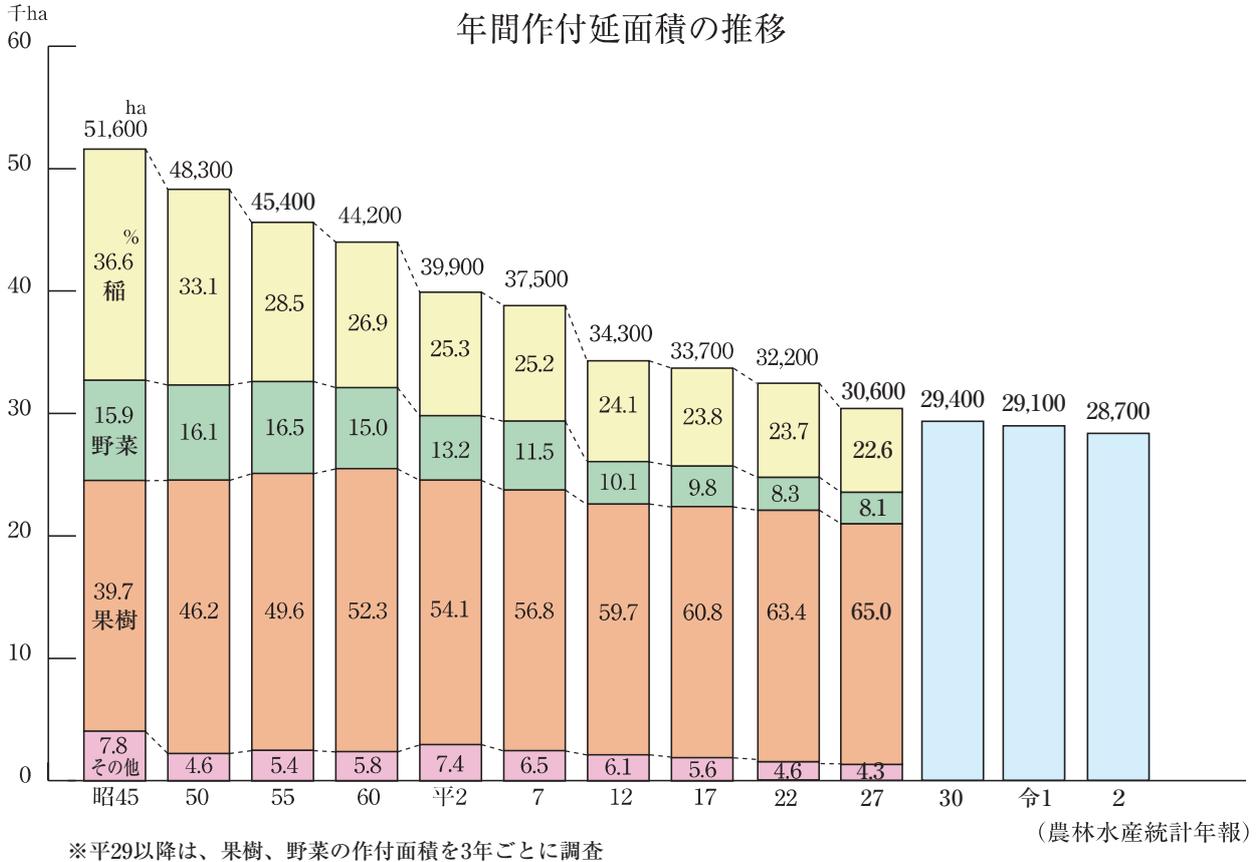
施設園芸作付延面積の推移

	昭50	55	60	平2	5	9	13	15	17	19	21	26	28	30
野菜	197	358	663	580	459	474	432	380	382	377	419	400	408	401
花き	35	79	180	276	353	413	266	210	220	211	205	176	199	189
果樹	16	15	80	137	174	150	117	120	118	92	74	72	64	62
合計	248	452	923	993	986	1,037	815	710	720	680	698	648	671	652

(園芸用施設及び農業用廃プラスチックに関する調査：昭50～平21)
(園芸用施設の設置等の状況：平26～平30)

4) 農業生産

作付面積は年々減少傾向にある。

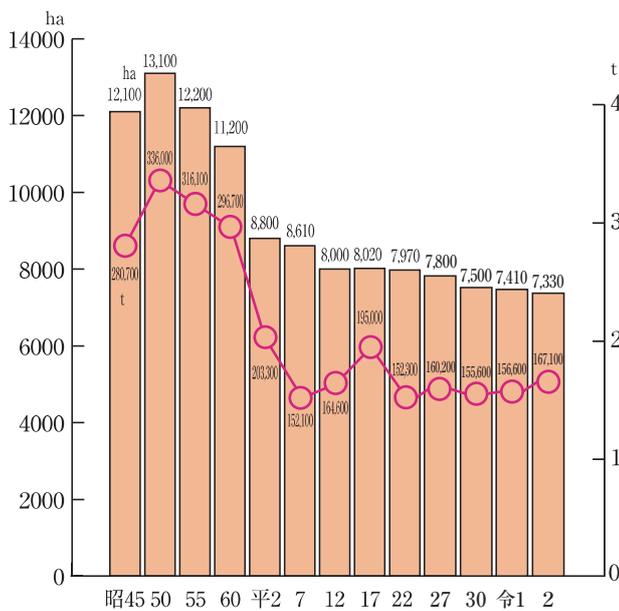


かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

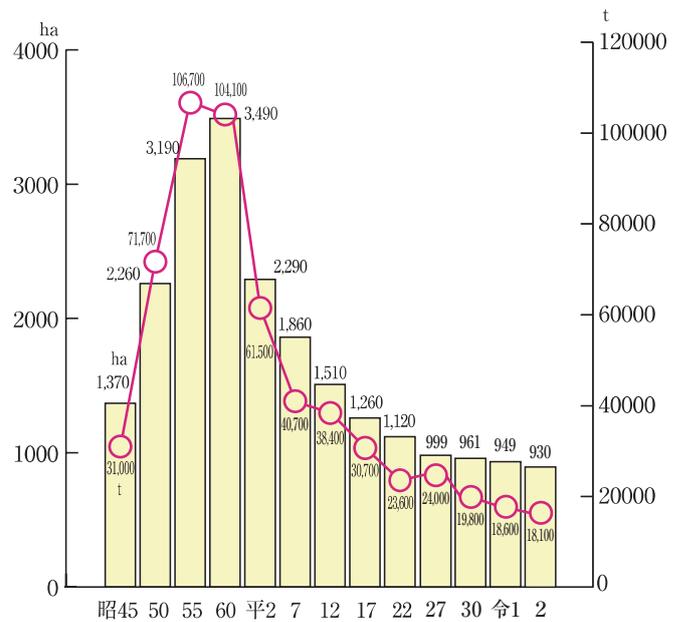
- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により、昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが、平成2年から緩やかな減少傾向となる。
- はっさく：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積が増加したが、その後減少傾向に転じ、近年はその傾向が鈍化している。
- 不知火：みかん・なつみかん・いよかん等の転換作物として栽培面積は増加傾向にある。

令和2年の全国順位とシェア（栽培面積）—— みかん1位（18.4%）

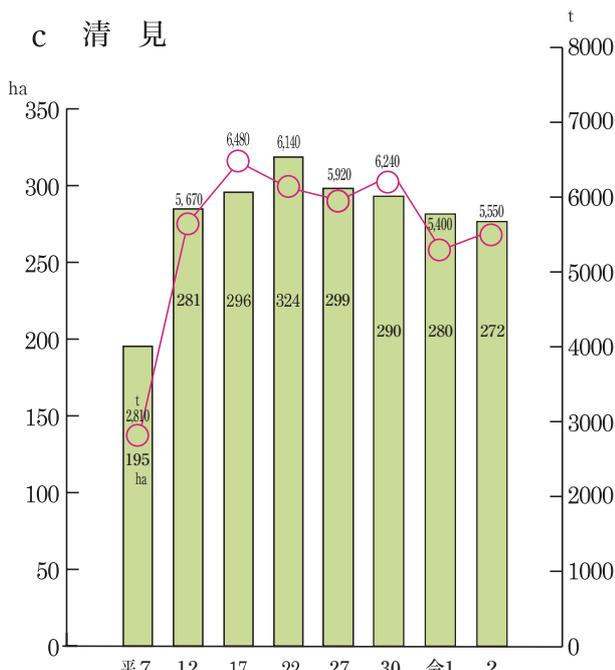
a みかん



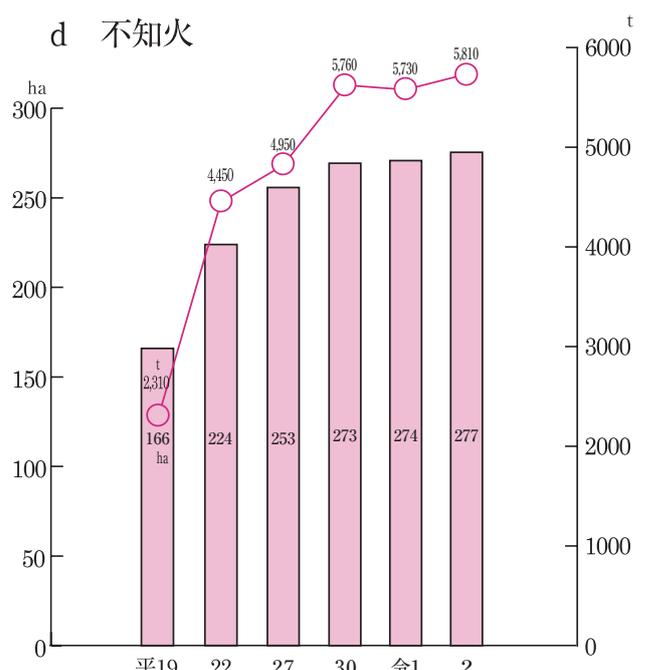
b はっさく



c 清見



d 不知火

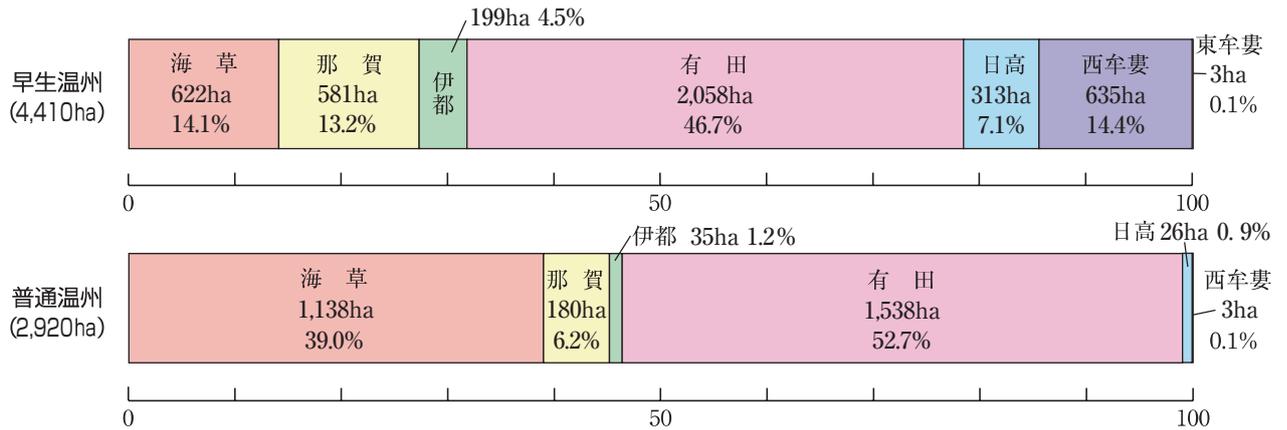


栽培面積 (ha)

収穫量 (t)

(農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

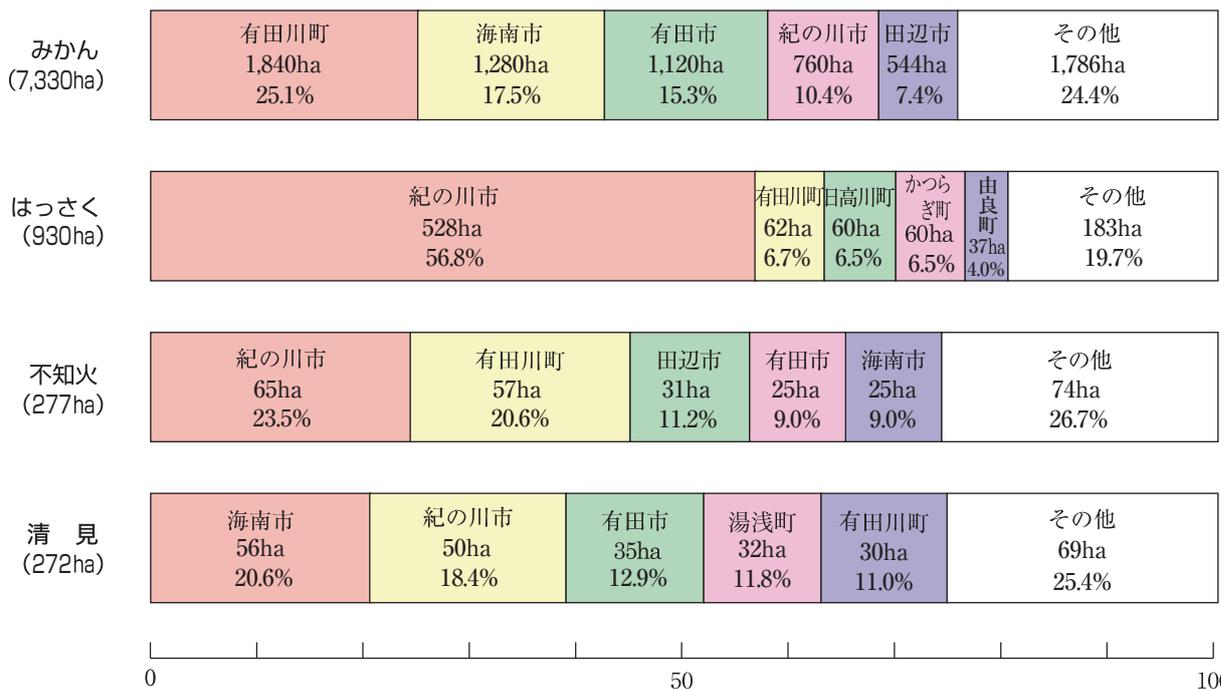
地域別・みかんの栽培面積（令2）



(市町村別統計検討協議会調べ)

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位5市町村〕（令2）



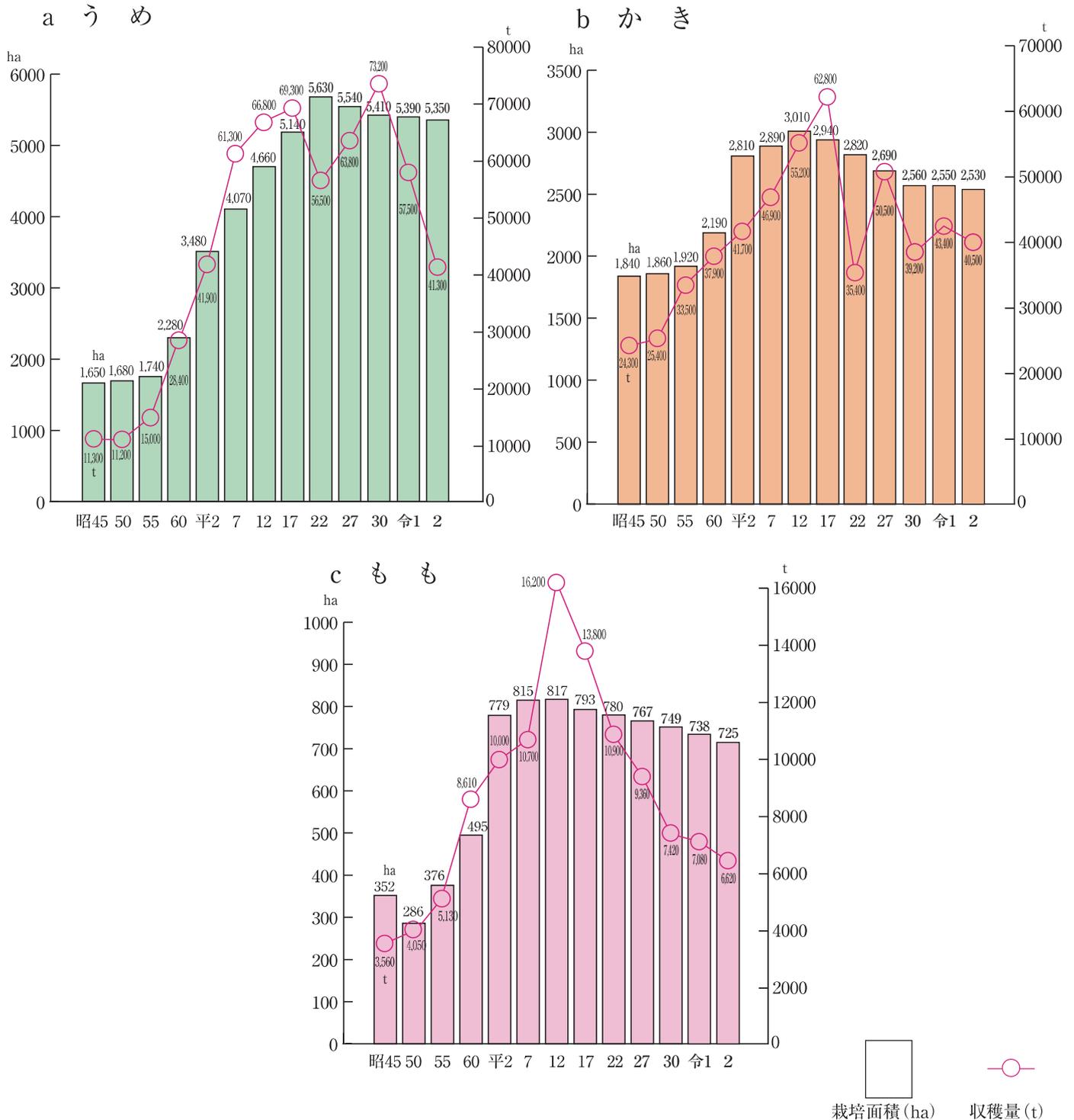
(市町村別統計検討協議会調べ)

みかんの栽培面積						
〔令2〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
みかん	39,800	7,330	1	18.4	和歌山	愛媛 静岡

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、近年は減少傾向にある。

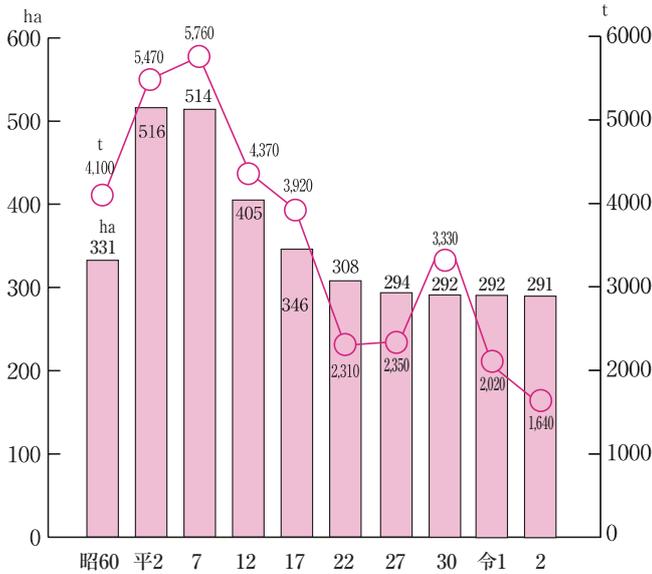
- うめ 健康食ブームと相まって栽培面積が急増したが、平成20年をピークに近年は減少傾向にある。
- かき 昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、平成12年をピークに近年は減少傾向にある。
- もも 昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、平成10年をピークに近年は減少傾向にある。
- すもも・キウイフルーツ 平成2年をピークに栽培面積は減少したが、近年は横ばいとなっている。



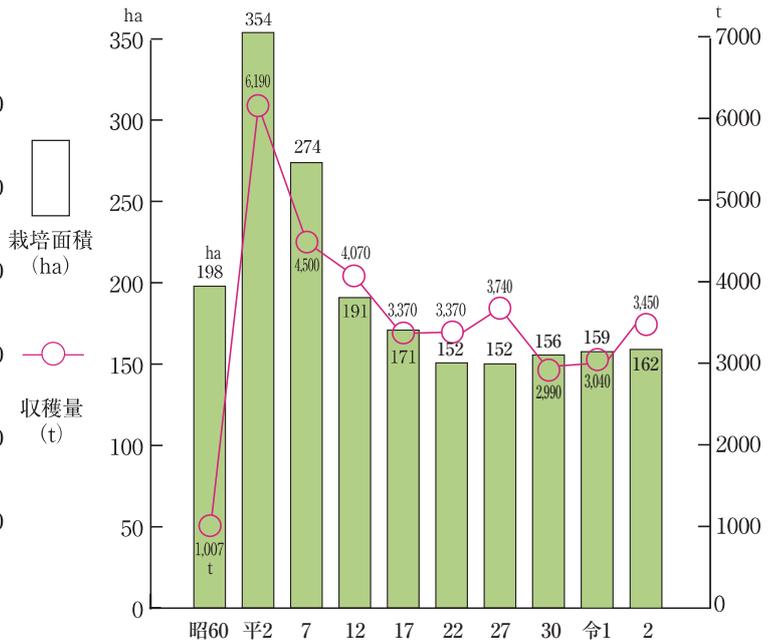
□ 栽培面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

d すもも

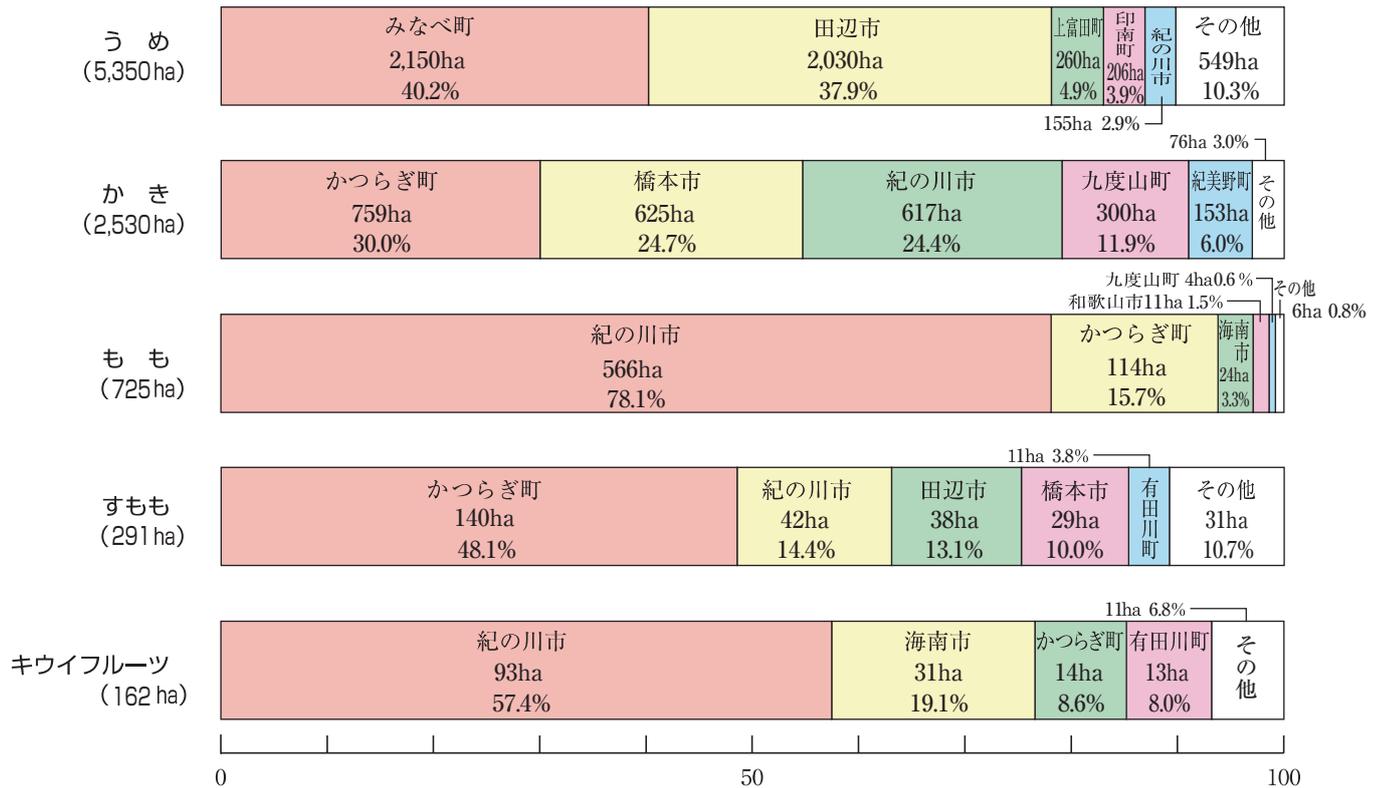


e キウイフルーツ



(農林水産統計年報)

市町村別・落葉果樹の栽培面積 (令2)



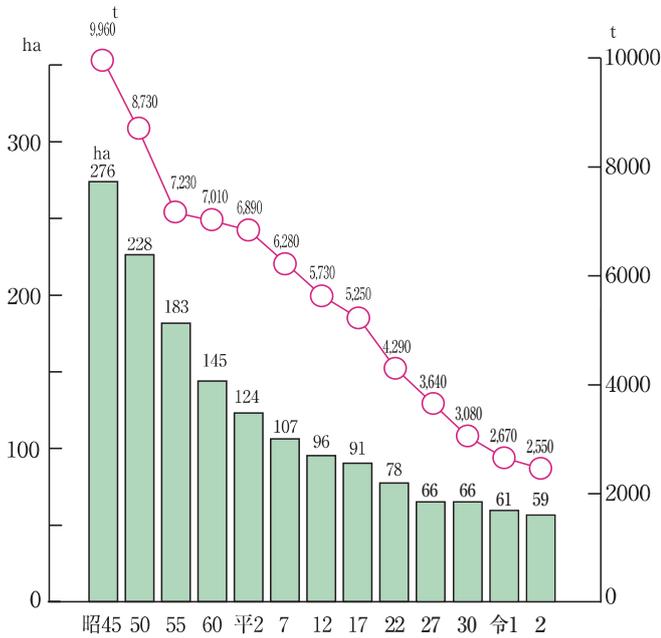
(市町村別統計検討協議会調べ)

栽培面積 (落葉果樹)		(ha)					
〔令2〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
うめ	14,800	5,350	1	36.1	和歌山	群馬	福井
かき	19,000	2,530	1	13.3	和歌山	奈良	岐阜
もも	10,100	725	4	7.2	山梨	福島	長野
すもも	2,880	291	3	10.1	山梨	長野	和歌山
キウイフルーツ	2,050	162	3	7.9	愛媛	福岡	和歌山

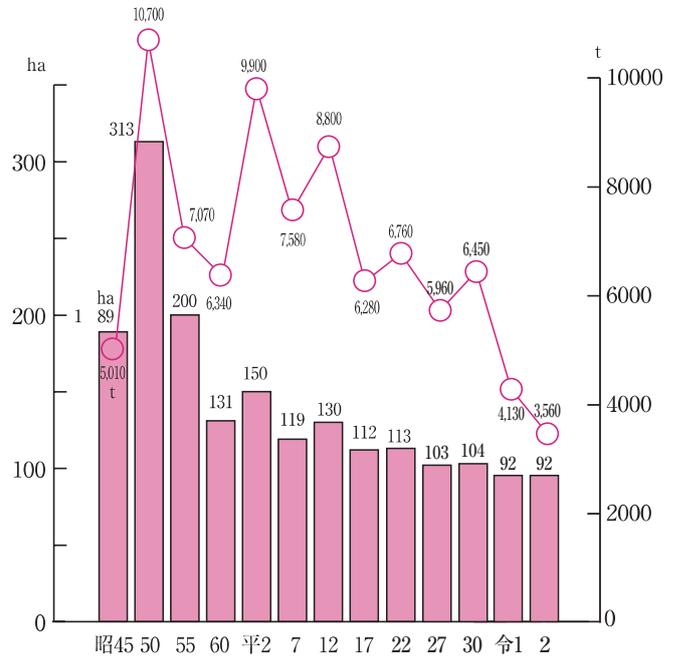
果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であったが、近年は横ばいで推移している。

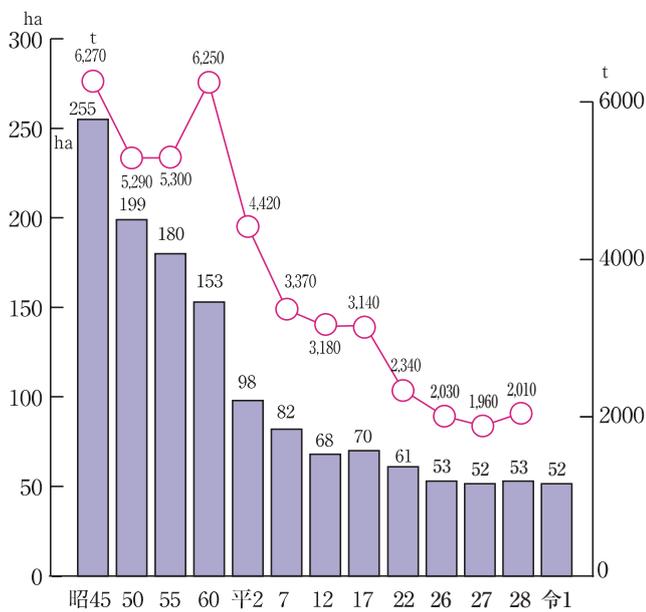
a きゅうり



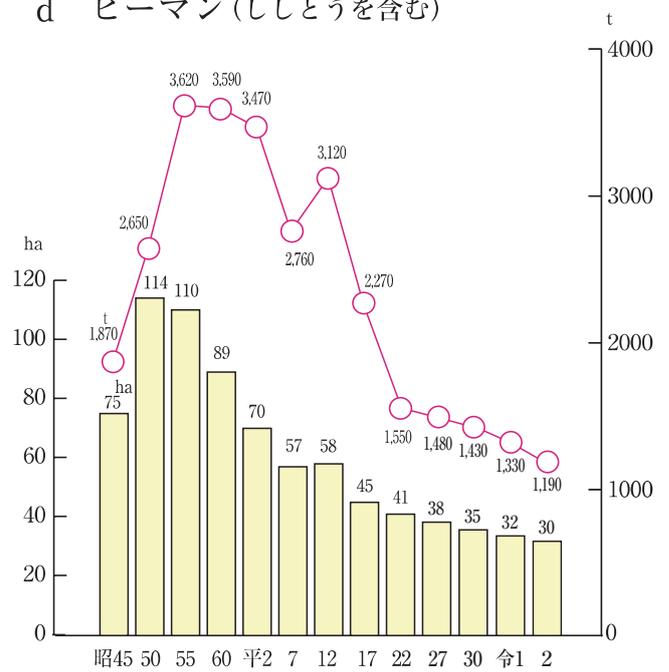
b トマト (ミニトマトを含む)



c なす



d ピーマン (ししとうを含む)

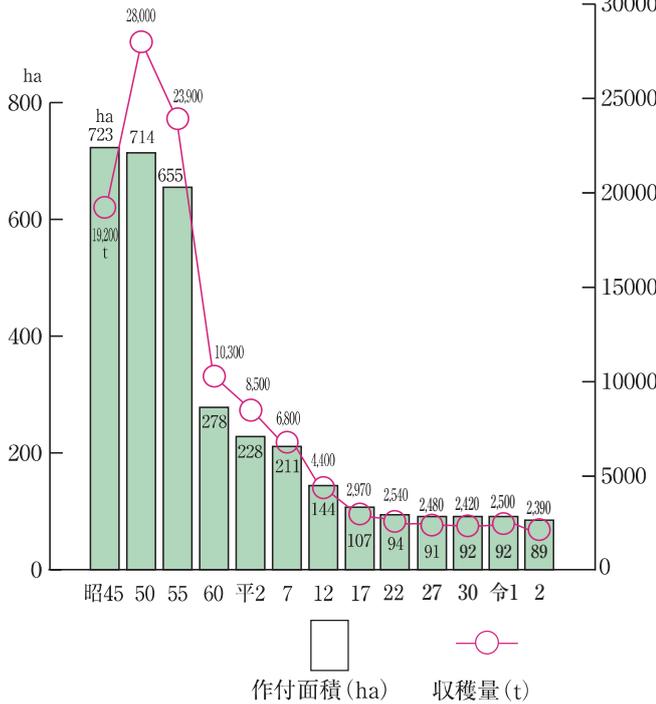


※平29・30・令2の数値はない
 ※令1の収穫量の数値はない

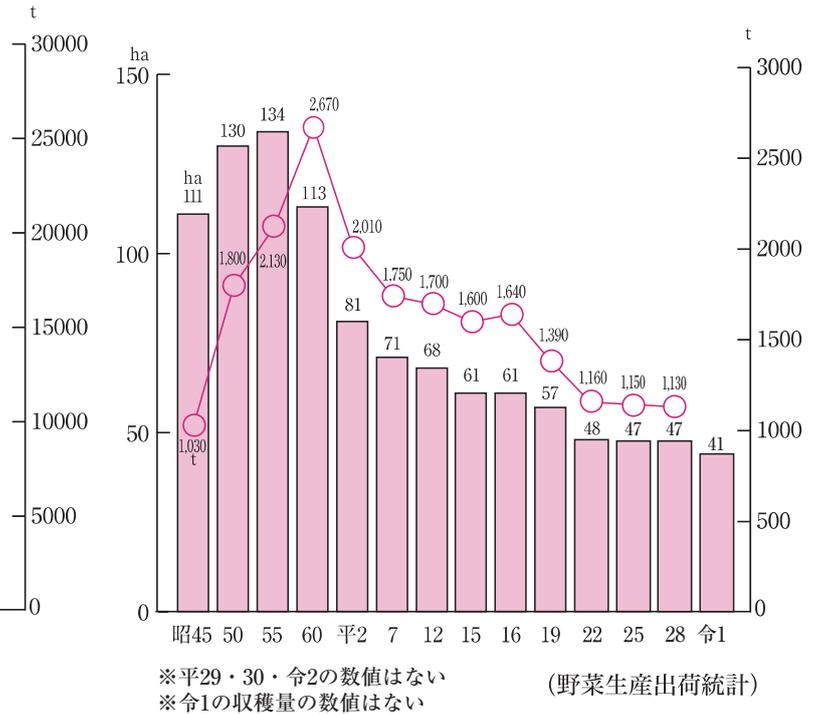
作付面積 (ha) 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e すいか

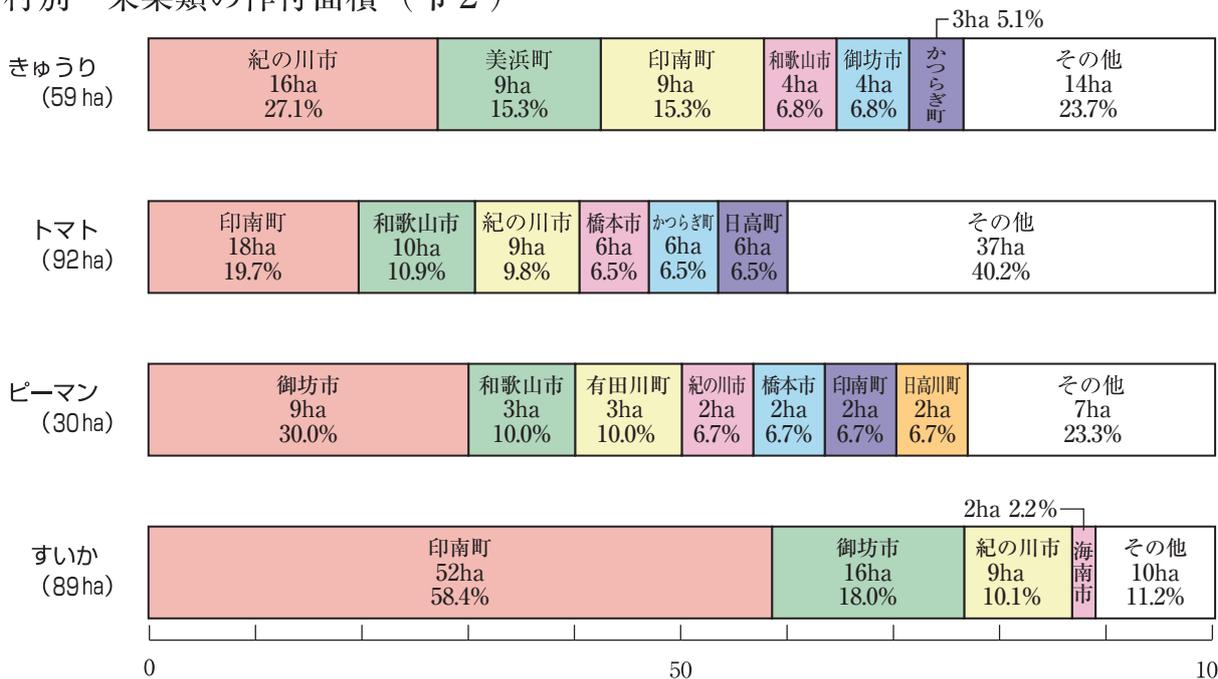


f いちご



※平29・30・令2の数値はない (野菜生産出荷統計)
 ※令1の収穫量の数値はない

市町村別・果菜類の作付面積（令2）



※ピーマンはししとう含む

(市町村別統計検討協議会調べ)

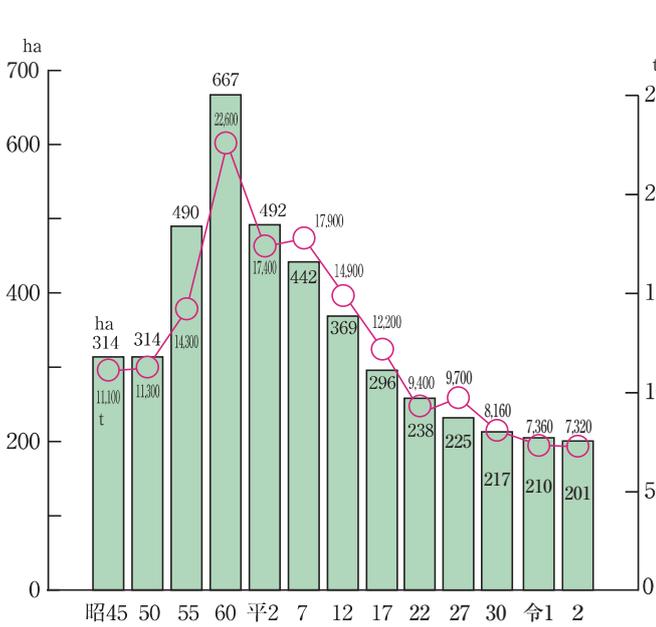
作付面積（果菜類） (ha)							
〔令2〕	全国		和歌山県		1位	2位	3位
	実数	順位	実数	シェア(%)	県名	県名	県名
きゅうり	10,100	59	41	0.6	群馬	福島	宮崎
トマト	11,400	92	37	0.8	熊本	茨城	北海道
ピーマン	3,160	30	27	1.0	茨城	宮崎	岩手
すいか	9,350	89	21	1.0	熊本	千葉	山形

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

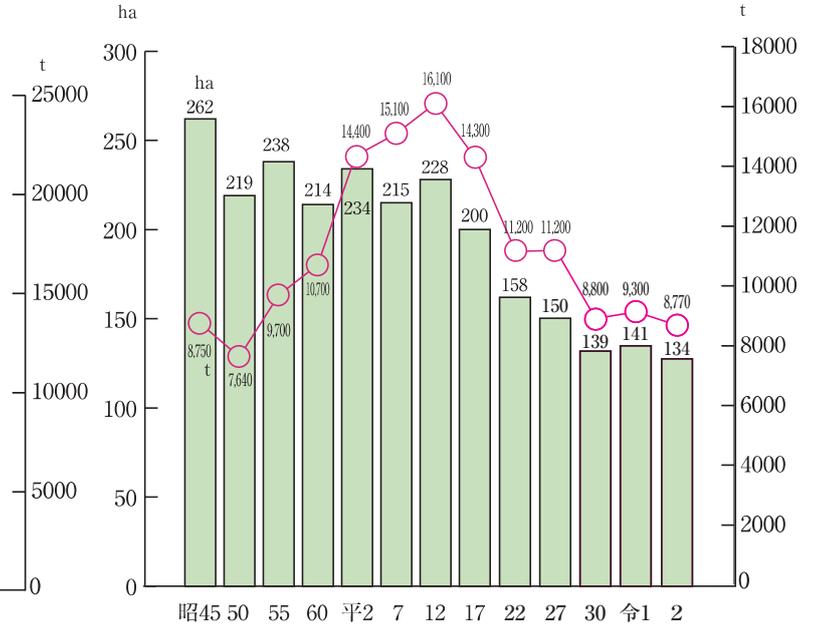
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であったが、近年は横ばいで推移している。

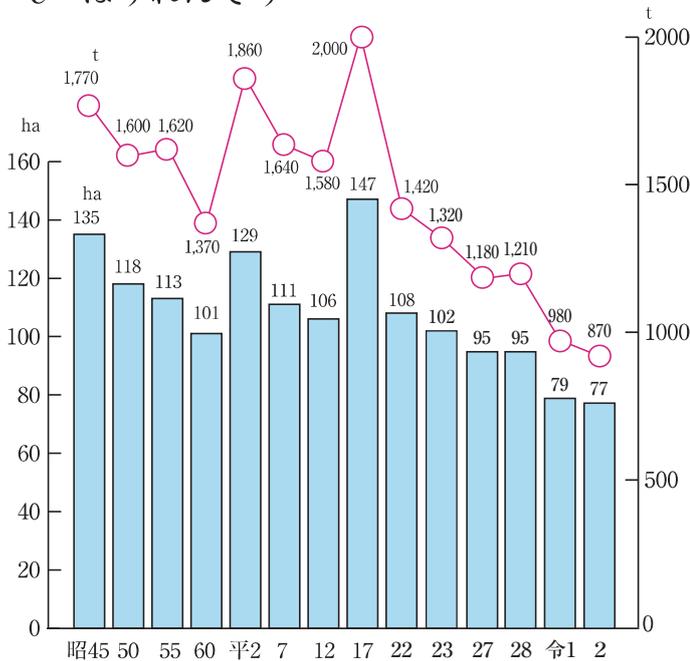
a キャベツ



b はくさい

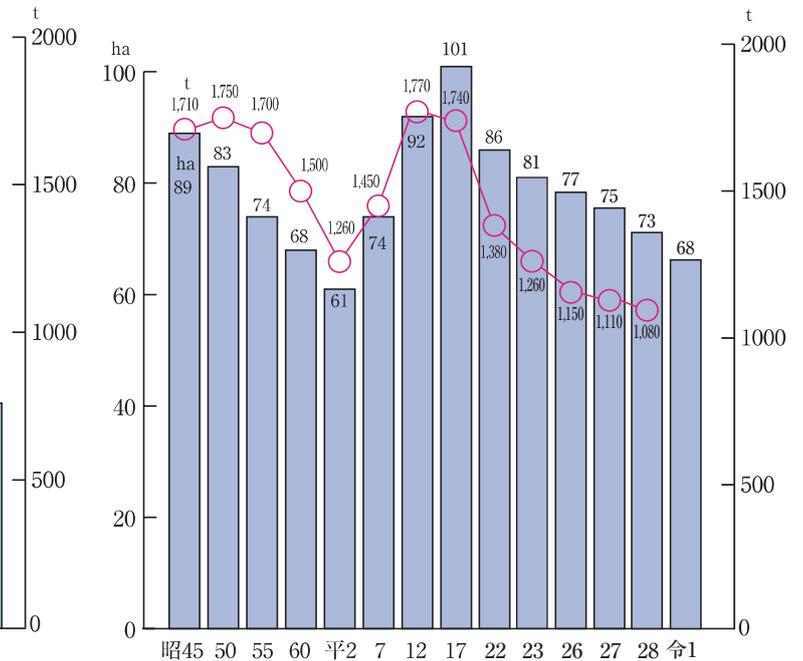


c ほうれんそう



※平29・30の数値はない

d ねぎ

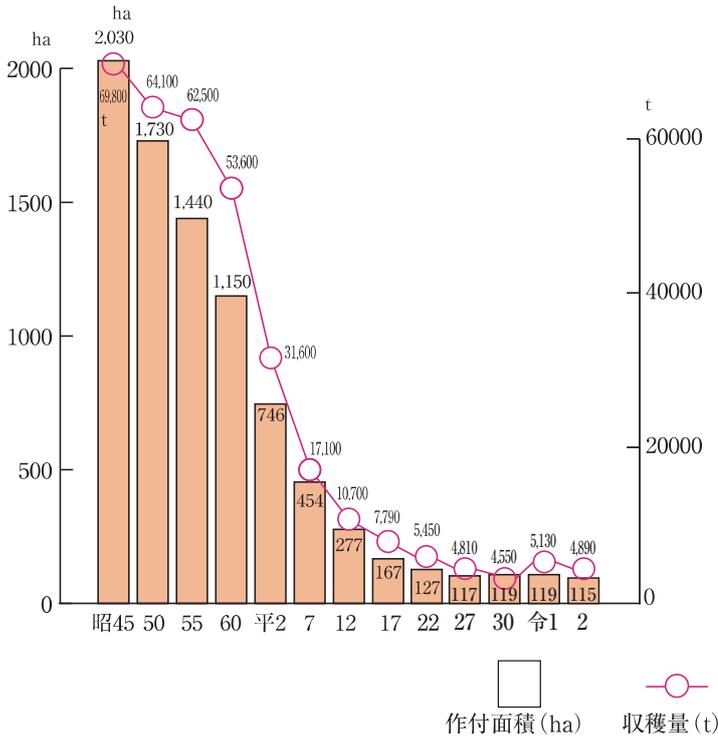


※平29・30・令2の数値はない
※令1の収穫量の数値はない

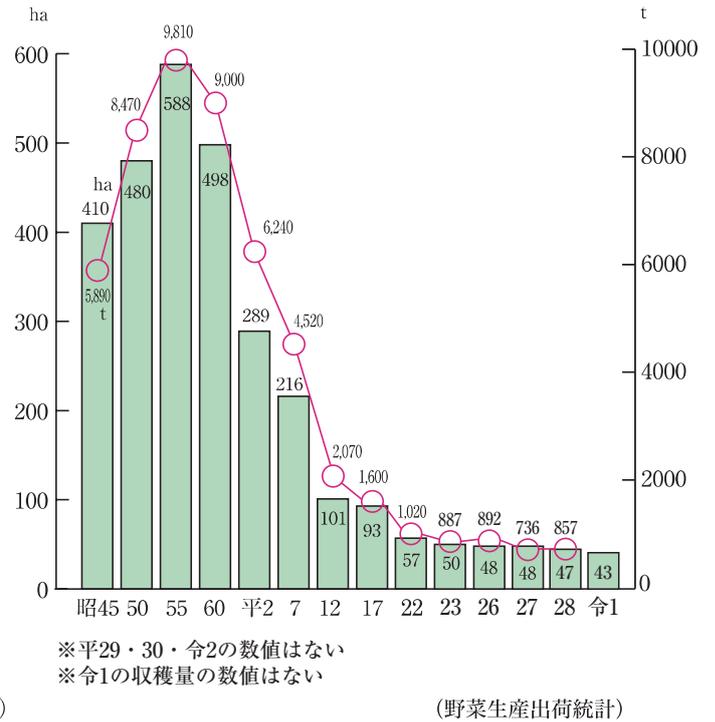
□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e たまねぎ

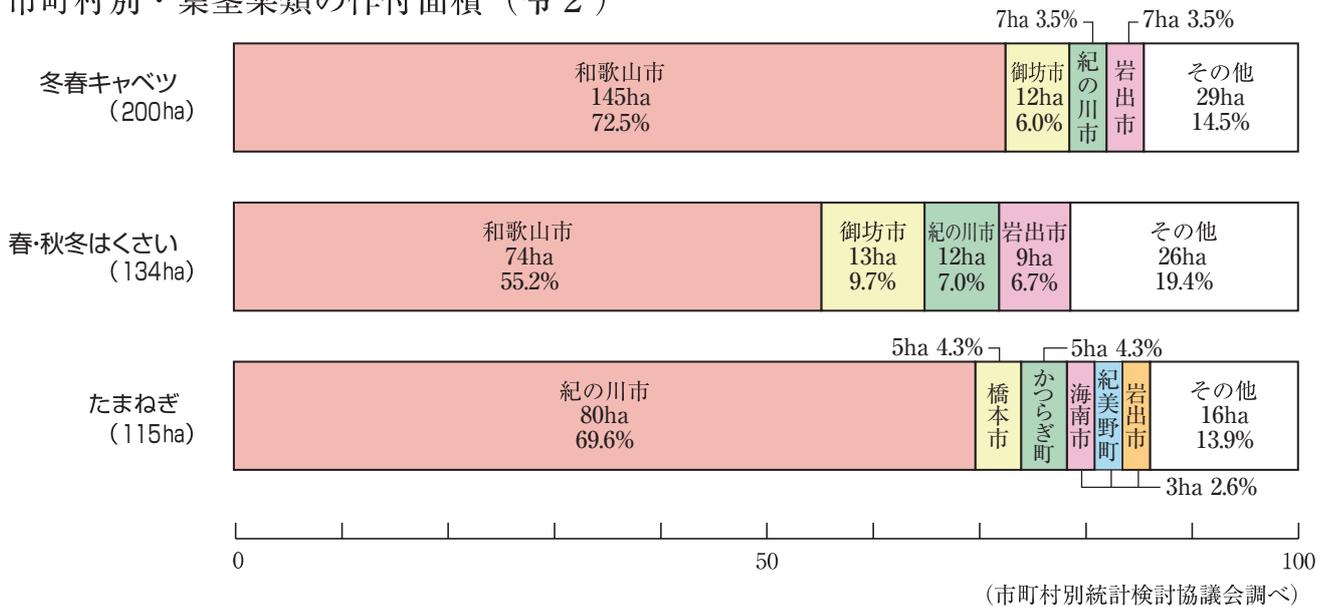


f レタス



(野菜生産出荷統計)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (令2)



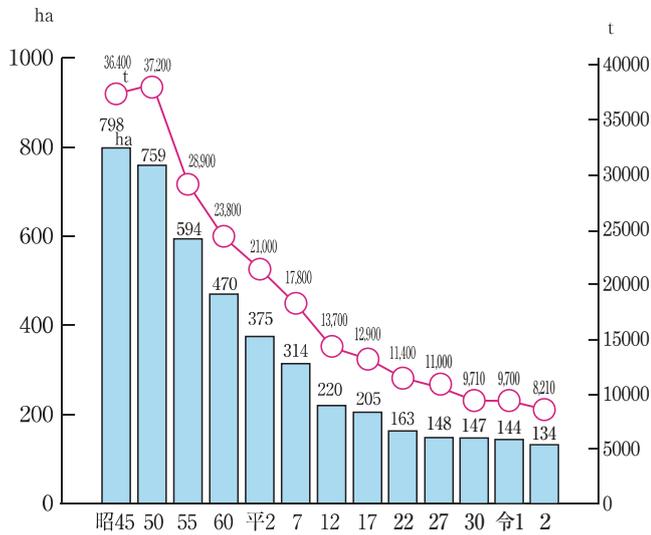
作付面積 (葉茎菜類) (ha)							
〔令2〕	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
キャベツ	34,000	201	34	0.6	愛知	群馬	千葉
はくさい	16,600	134	28	0.8	茨城	長野	北海道
たまねぎ	25,500	115	22	0.5	北海道	佐賀	兵庫

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

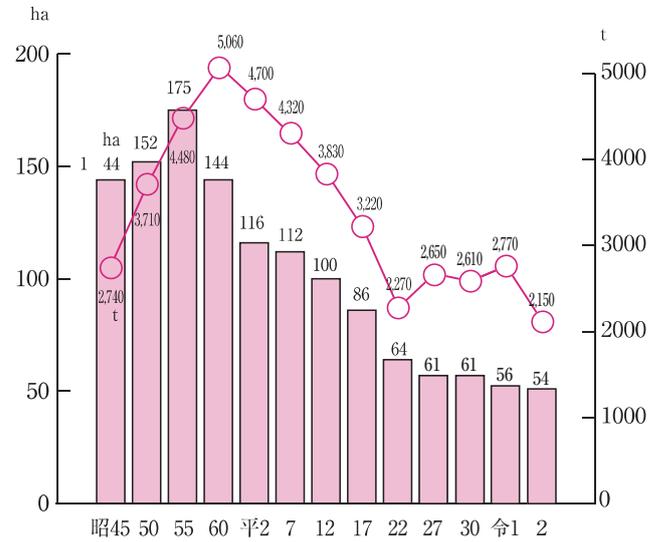
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であったが、近年は横ばいで推移している。

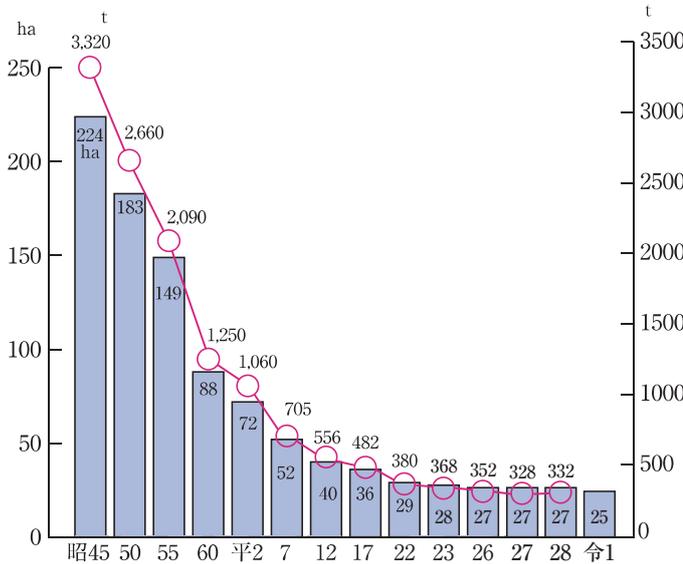
a だいこん



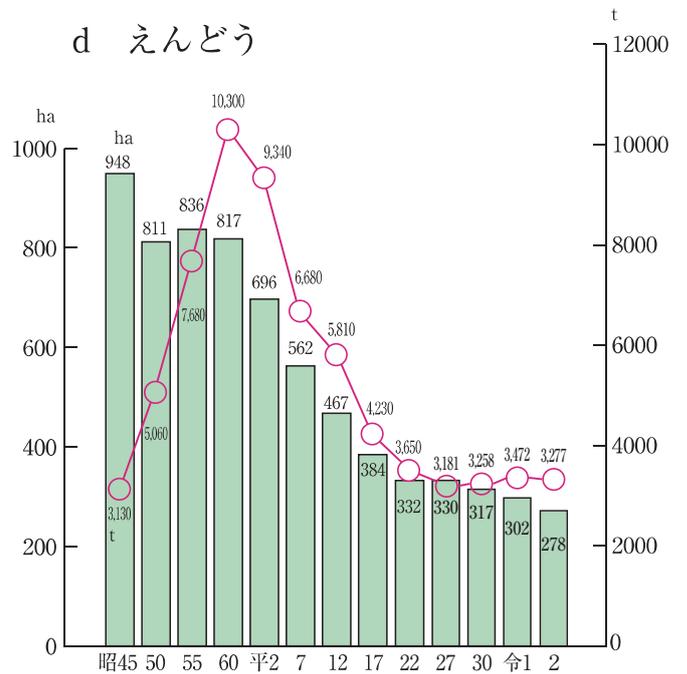
b にんじん



c さといも



d えんどう

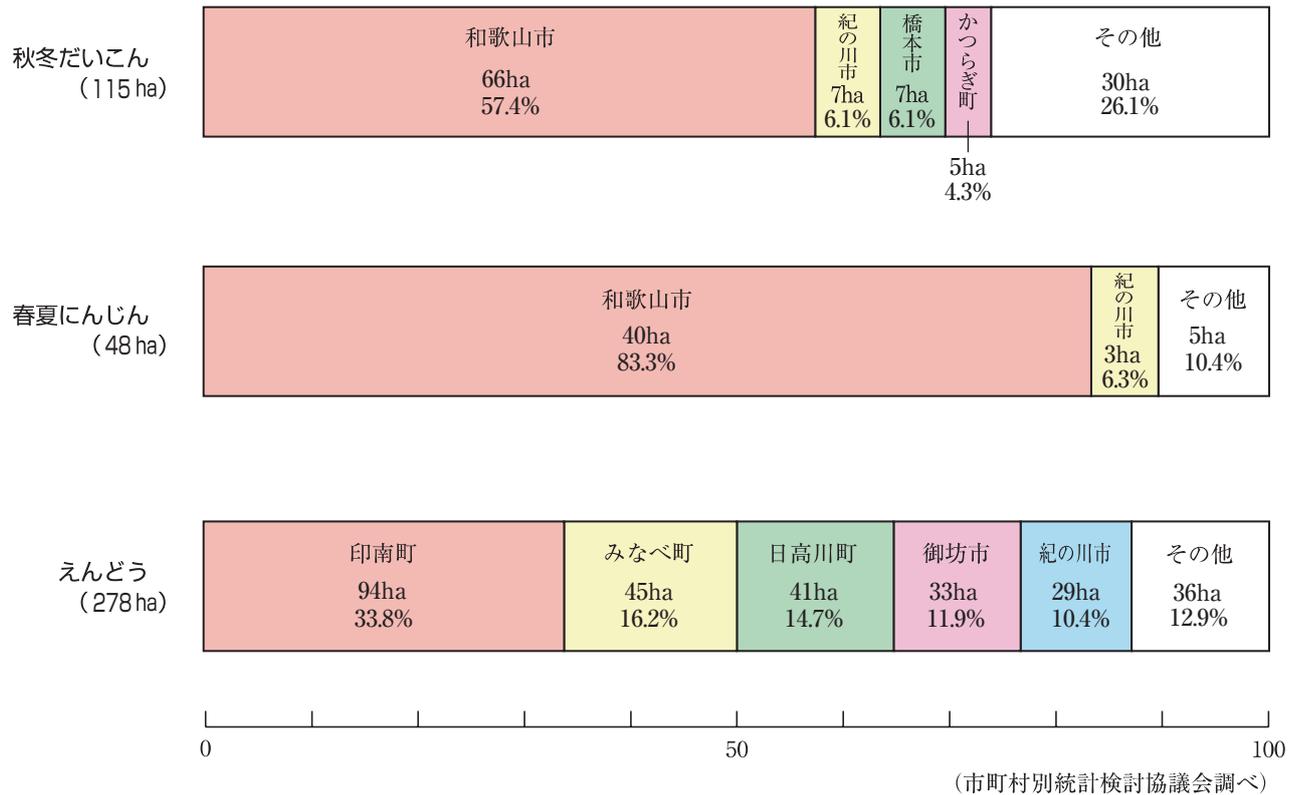


※平29・30・令2の数値はない
 ※令1の収穫量の数値はない

□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（令2）

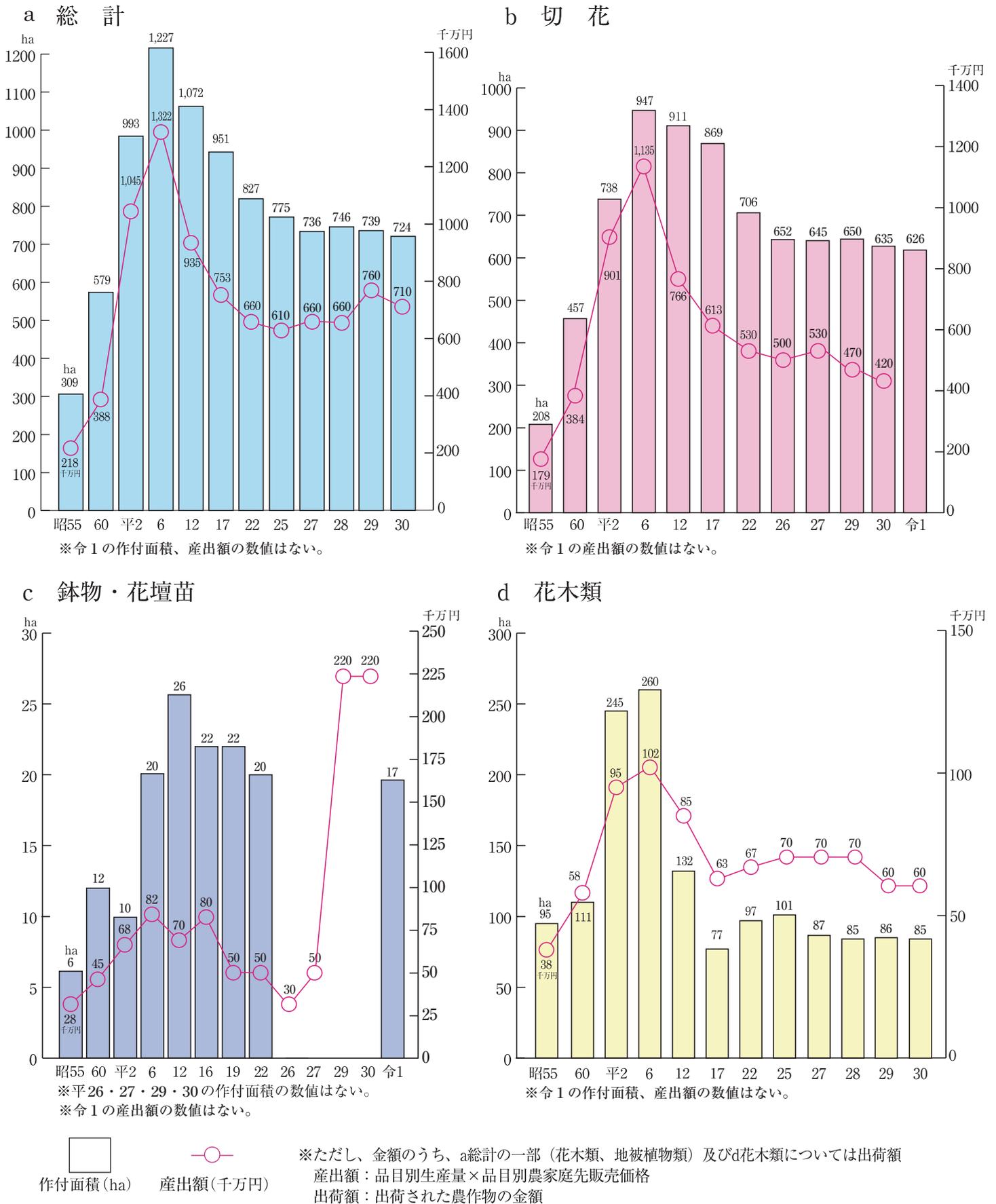


作付面積（根菜類・豆類）							
〔令2〕	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
だいこん	29,800	134	35	0.4	北海道	青森	千葉
にんじん	16,800	54	25	0.3	北海道	千葉	青森
えんどう	3,485	278	2	8.0	鹿児島	和歌山	福島

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。(野菜生産出荷統計)
 ※えんどうはうすいえんどう、きぬさやえんどう、オランダの合計。

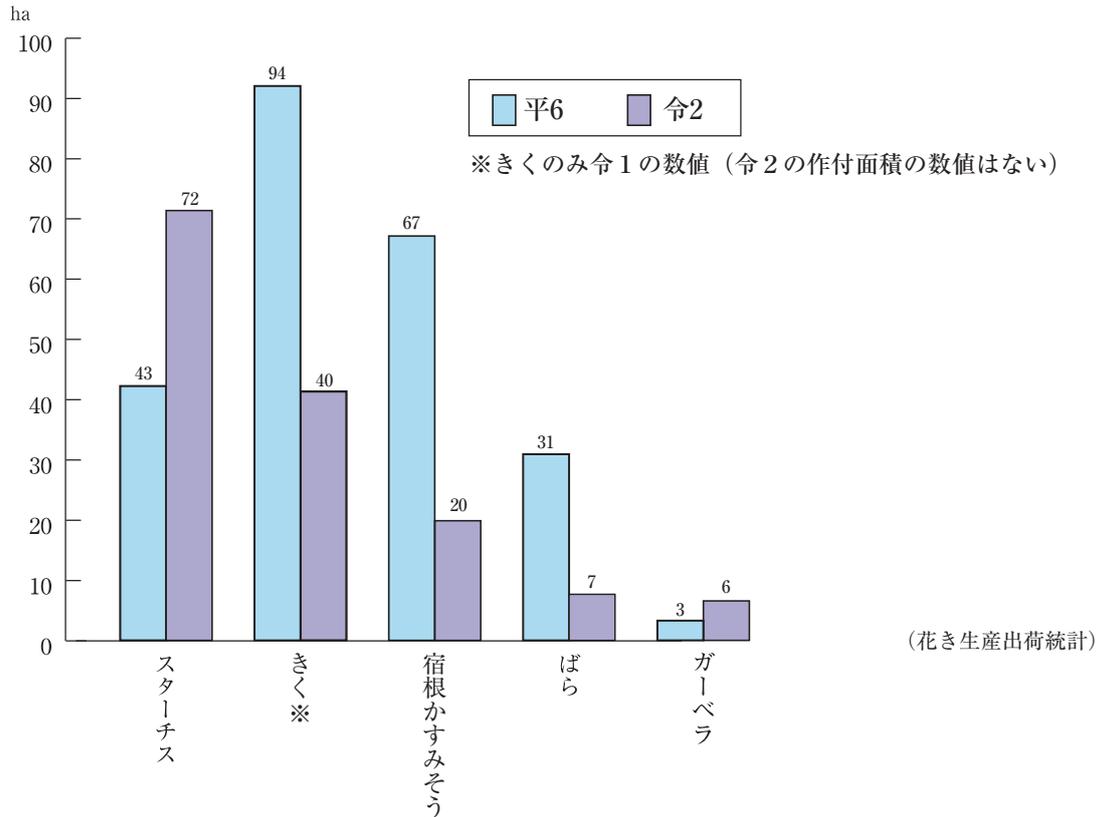
花き生産の推移

花き全体の栽培面積は平成6年から平成2年にかけて需要の増加や野菜からの転換により急激に増加し、平成6年にピークとなった。その後減少に転じ、近年は横ばいとなっている。

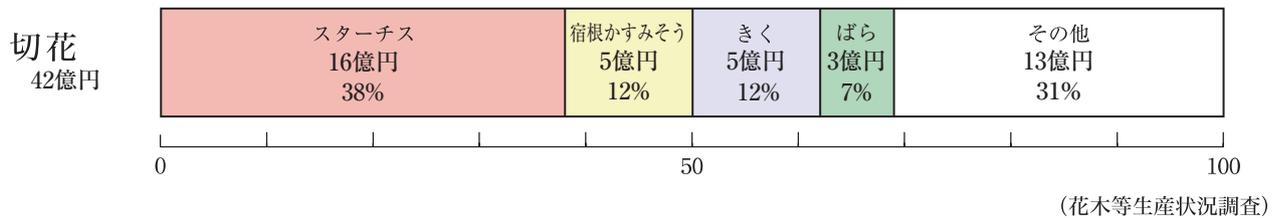


(花木等生産状況調査)

主要切花の作付面積



切花生産額の品目別割合 (平30)



産出額(花き)							(億円)
〔平30〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
スターチス	50	16	2	32.0	北海道	和歌山	長野

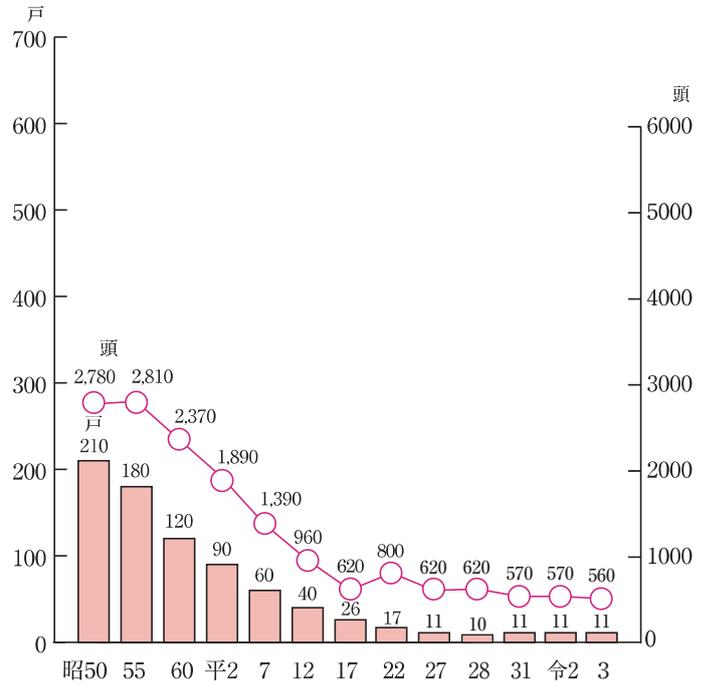
(花木等生産状況調査)

家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

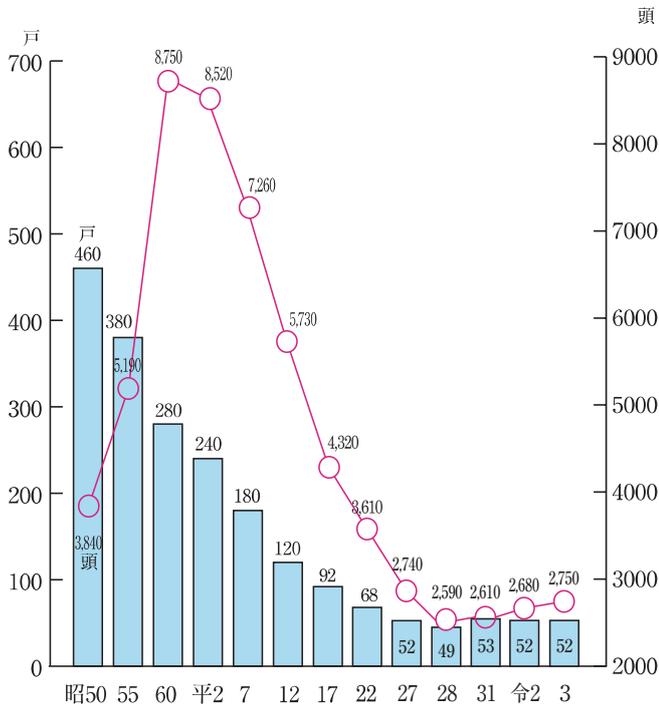
畜産農家数及び飼養頭羽数は減少傾向であるが近年は横ばいで推移している。

(採卵鶏の農家戸数は平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く。)

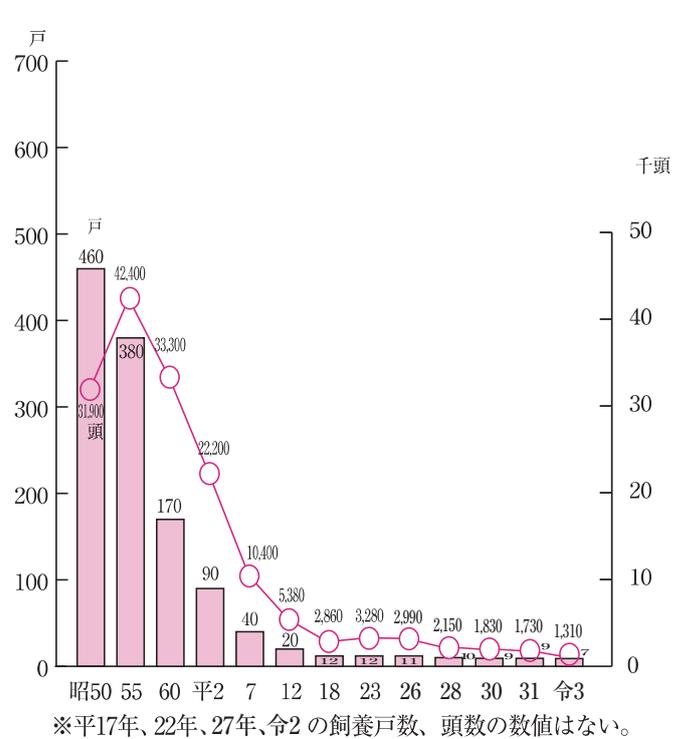
a 乳用牛



b 肉用牛

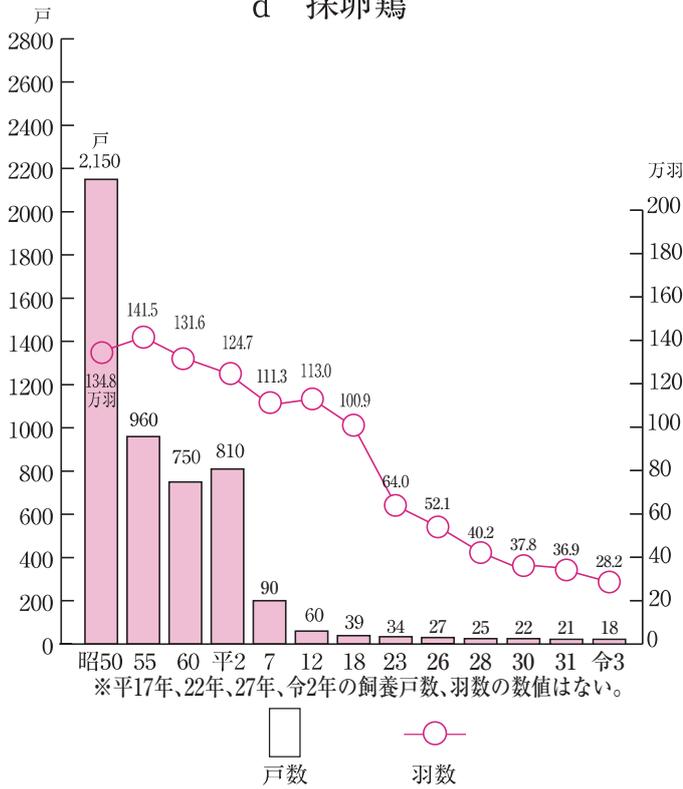


c 豚

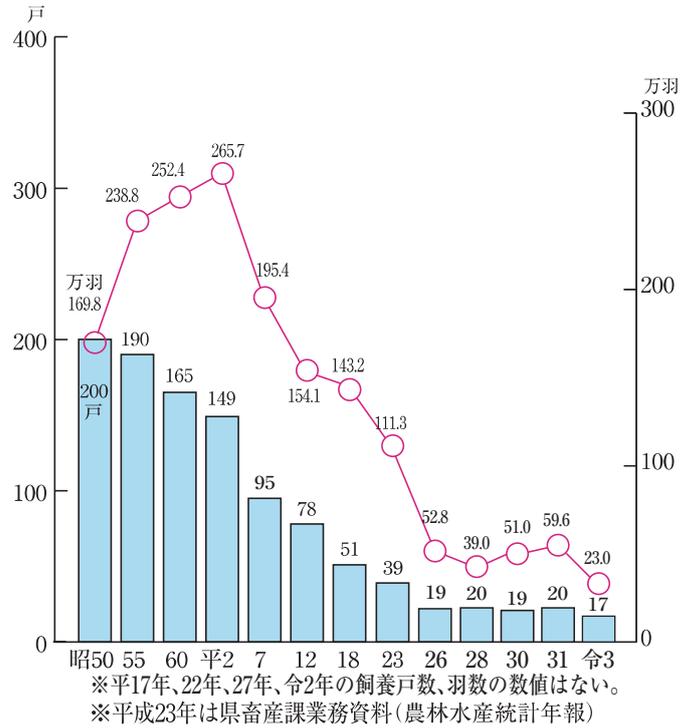


戸数
 頭数
 (農林水産省「畜産統計調査」)

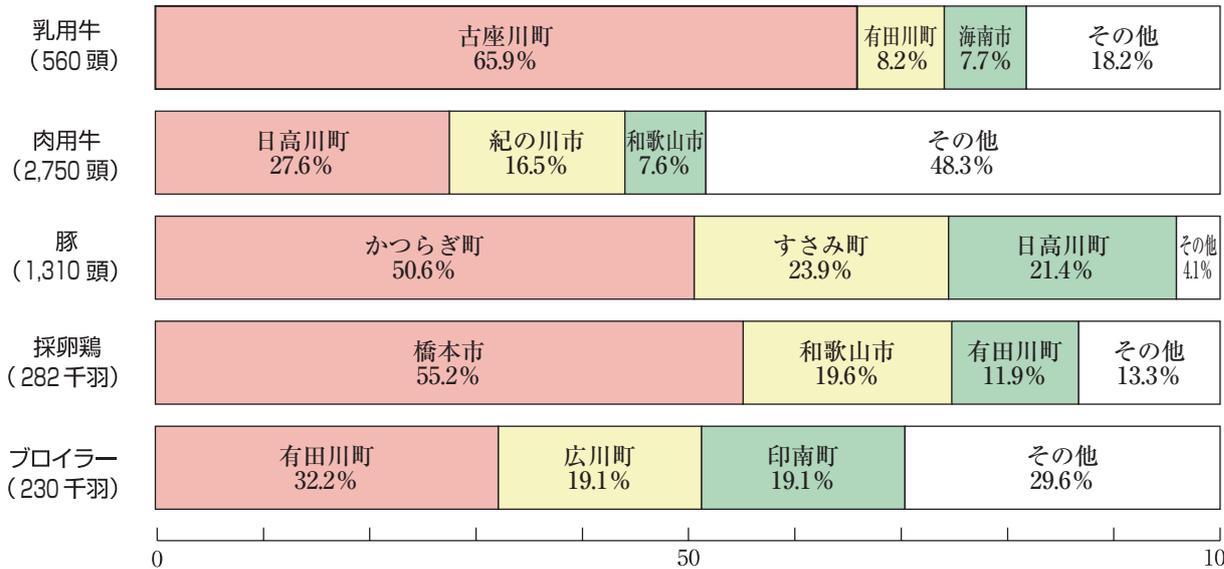
d 採卵鶏



e ブロイラー



市町村別・家畜飼養頭羽数 (令3 : 乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー)



家畜の飼養頭羽数・戸数

		和歌山県				1位	2位	3位
		全国 実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,356,000	560	47	0.0	北海道	岩手	栃木
	肉用牛(頭)	2,605,000	2,750	44	0.1	鹿児島	宮崎	岩手
	豚(頭)	9,290,000	1,310	47	0.0	鹿児島	宮崎	北海道
	採卵鶏(千羽)	183,373	282	42	0.2	茨城	鹿児島	千葉
飼養戸数(戸)	ブロイラー(千羽)	139,658	230	-	0.2	宮崎	鹿児島	岩手
	乳用牛	13,800	11	47	0.1	北海道	岩手	栃木
	肉用牛	42,100	52	42	0.1	鹿児島	宮崎	岩手
	豚	3,850	7	43	0.2	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏	1,960	18	36	0.9	愛知	鹿児島	千葉
ブロイラー	2,160	17	23	0.8	宮崎	鹿児島	岩手	

ブロイラーの飼養頭羽数の和歌山県の順位は、飼養頭羽数の数値がXとなっている県があるため確定できない。

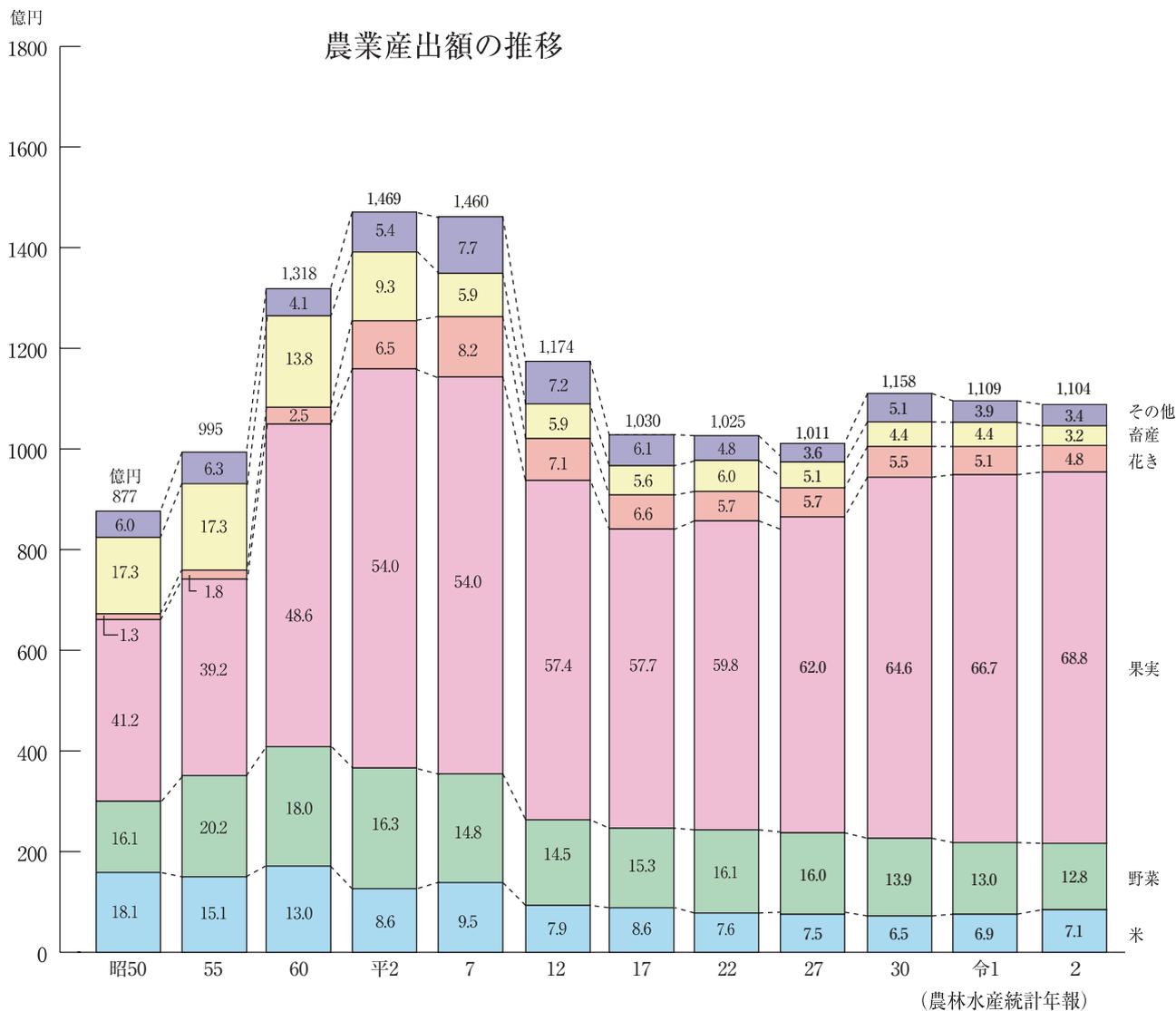
X:個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

(農林水産省「畜産統計調査」)
乳用牛、肉用牛豚、採卵鶏、ブロイラー [令3.3.1現在]

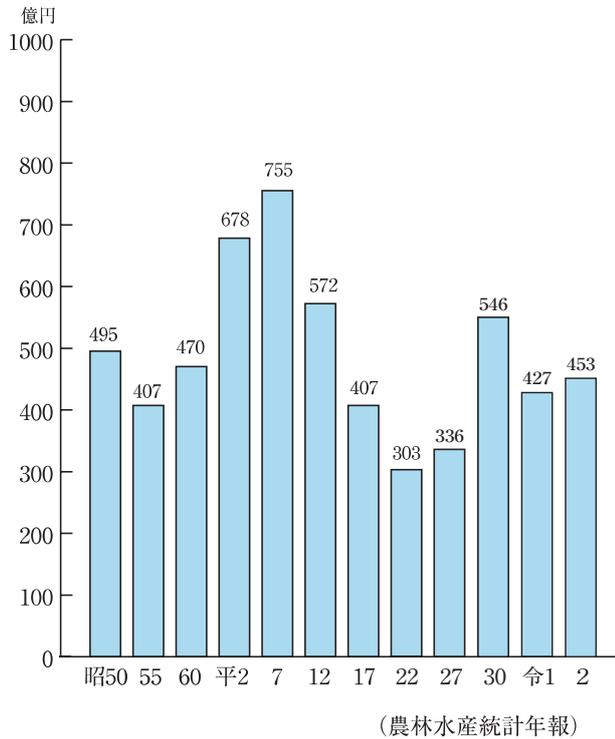
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60~70%程度の産出額で推移している。

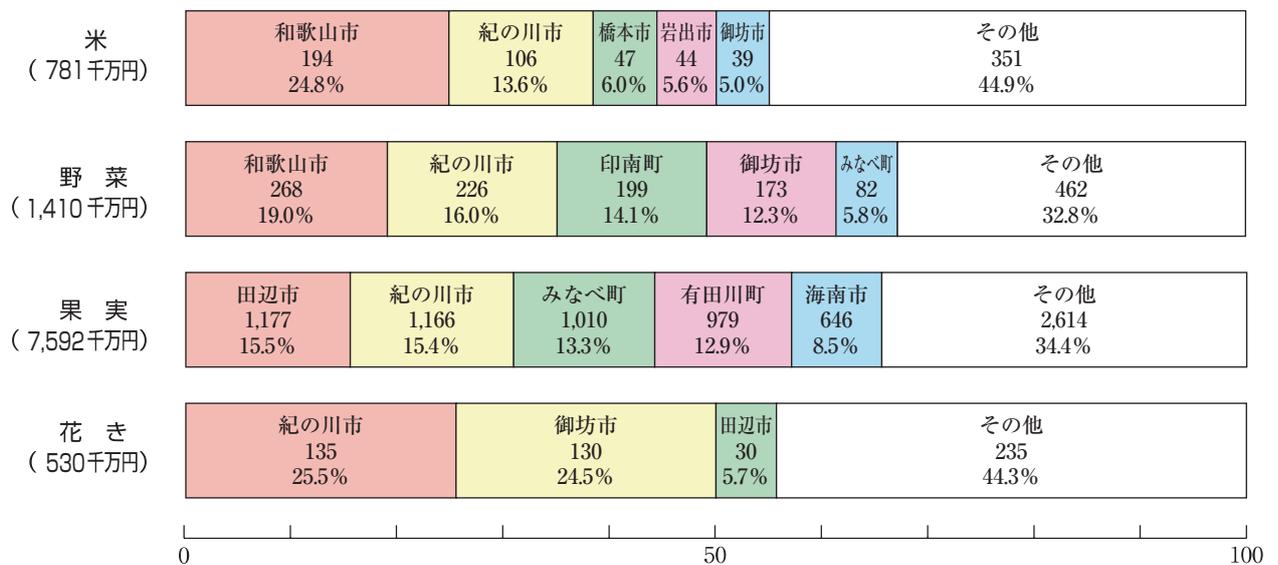
また、生産農業所得も同様の傾向で令和2年は453億円となり、平成8年をピークに減少傾向にある。



生産農業所得（県計）の推移



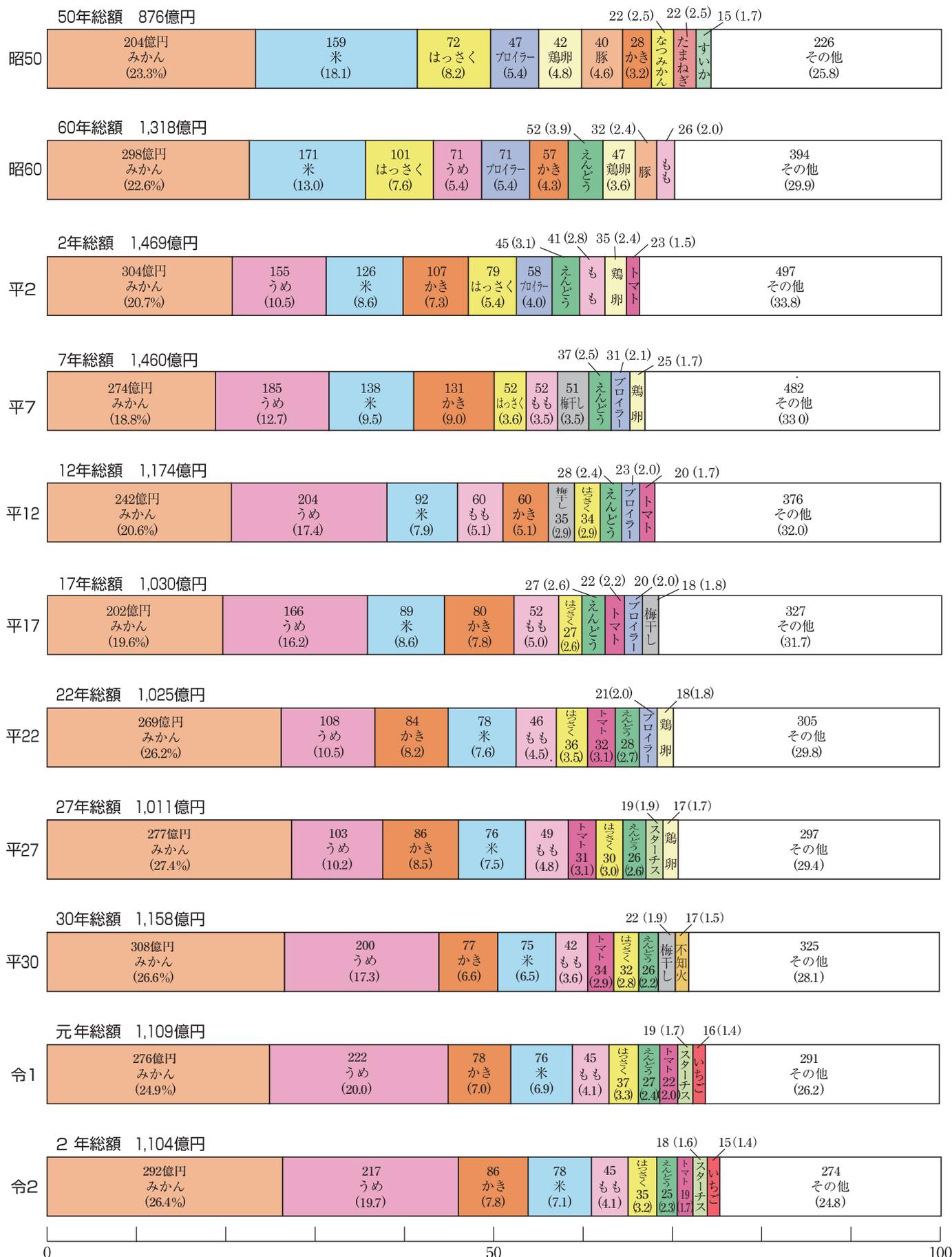
市町村別・部門別農業産出額（令2）



(農林水産統計年報)

農産物産出額上位10品目の推移

令和2年の農産物産出額を品目別にみると、「みかん」と「うめ」で全体の約46%を占めており、1位みかん、2位うめ、3位かき、4位米、5位ももとなっている。



6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備56.8%、かんがい施設整備34.2%、区画整理6.9%で田の区画整理は17.2%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
畑面積 (ha)		25,100	24,800	24,600	24,500	24,400	24,300	24,200	23,900	23,600	23,200	22,900	22,700	22,500
農道整備済み面積 (ha)		12,204	12,253	12,344	12,348	12,359	12,458	12,496	12,695	12,720	12,776	12,777	12,777	12,777
整備率 (%)		48.6	49.4	50.2	50.4	50.7	51.3	51.6	53.1	53.9	55.1	55.8	56.3	56.8
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)		7,501	7,501	7,501	7,501	7,501	7,552	7,662	7,676	7,710	7,710	7,710	7,710	7,710
整備率 (%)		29.9	30.2	30.5	30.6	30.7	31.1	31.7	32.1	32.7	33.2	33.7	34.0	34.2
区画整理済み面積 (ha)		1,520	1,520	1,525	1,525	1,539	1,551	1,551	1,562	1,562	1,562	1,562	1,565	1,565
整備率 (%)		6.1	6.1	6.2	6.2	6.3	6.4	6.4	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9	6.9

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
田面積 (ha)		10,900	10,700	10,600	10,500	10,300	10,300	10,100	9,870	9,740	9,610	9,520	9,460	9,330
区画整理済み面積 (ha)		1,588	1,588	1,588	1,588	1,588	1,601	1,601	1,601	1,601	1,601	1,601	1,601	1,607
整備率 (%)		14.6	14.8	14.8	15.1	15.4	15.5	15.9	16.2	16.4	16.7	16.8	16.9	17.2

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
農業水利施設延長 (km)		682	682	682	682	682	682	682	682	682	682	682	682	682
保全対策済み延長		24	40	50	52	68	79	95	101	103	103	110	112	112
ため池の箇所数		5,566	5,566	5,566	5,453	5,453	5,453	5,453	5,453	5,260	5,260	5,260	5,131	5,130
整備済み箇所数		1,115	1,136	1,163	1,177	1,213	1,226	1,250	1,280	1,300	1,319	1,344	1,359	1,381
整備率 (%)		20.0	20.4	20.5	21.0	22.2	22.5	22.9	23.5	24.7	25.1	25.5	26.5	26.9
農業集落排水整備対象人口 (人)		61,878	45,003	45,921	45,321	44,781	44,425	44,188	42,940	42,657	41,468	38,952	38,736	37,977
整備済み人口		43,302	43,250	43,527	43,395	42,859	42,492	42,252	41,011	41,094	39,456	37,975	37,717	36,944
整備率 (%)		70.0	96.1	94.8	95.8	95.7	95.6	95.6	95.5	96.3	95.1	97.5	97.4	97.2
広域農道整備済み延長 (km)		66.9	68.3	68.9	69.8	70.4	71.5	72.1	73.1	73.6	75.2	75.4	75.8	77.3

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長